

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

日常点・その他 100 %

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 12

11490

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor PERSINGER ALLAN E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor COLE SIMON ANTHONY

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

- ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

- ・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 17

11503

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 18

11504

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 19

11494

担当者名 / Instructor DONOVAN RICHARD N.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 20

11495

担当者名 / Instructor MONTOYA STEVE L., MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 21

11492

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 22

11496

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 23

11493

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 24

11500

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 25

11505

担当者名 / Instructor AUGUSTINE MORRIS J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 26

11498

担当者名 / Instructor HANDY SOPHIE J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

- ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

- ・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 27

11499

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 28

11606

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 29

11607

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 30

11608

担当者名 / Instructor PERSINGER ALLAN E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 31

11609

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 32

11610

担当者名 / Instructor COLE SIMON ANTHONY

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 33

11612

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 34

11616

担当者名 / Instructor DONOVAN RICHARD N.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 35

11603

担当者名 / Instructor MONTOYA STEVE L., MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 37

11611

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 38

11614

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 39

11615

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 40

11602

担当者名 / Instructor DOMJANCIC NICHOLAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 41

11604

担当者名 / Instructor AUGUSTINE MORRIS J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 42

11605

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語1 43

11617

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指す。特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視する。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなど一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業をおこなう。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられる。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

・英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する、ノートを取るなど)。

・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

・口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 情報を論理的に構成するため話題展開を示す語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor HANDY SOPHIE J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレインストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレインストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor COLE SIMON ANTHONY

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor DONOVAN RICHARD N.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 20

11564

担当者名 / Instructor AUGUSTINE MORRIS J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 21

11567

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレインストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレインストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

日常点・その他 100 %

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 30

11669

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 32

11656

担当者名 / Instructor COLE SIMON ANTHONY

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 34

11663

担当者名 / Instructor DONOVAN RICHARD N.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor AUGUSTINE MORRIS J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程に必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価		
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 39

11660

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor DOMJANCIC NICHOLAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを旨とするが、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語2 41

11661

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す。特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、プレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・プレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(全員必修)(週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員、あるいは一部日本人教員が担当)

この科目は、学生の英語の4つの技能を総合的に修得することを目指す、特にライティングに重点を置く。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とする。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要な、ブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学ぶ。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ・ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- ・アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- ・主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- ・明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- ・論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- ・他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- ・他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1A

10703

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1B

10704

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

- * 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1C

10705

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1D

10706

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1E

10707

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1F

10708

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

- * 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1G

10709

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回 に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1H

10710

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 11

10711

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

- * 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1J

10712

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1K

10713

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1L

10836

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1M

10837

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

- * 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks**参考書 / Reference Books**

初回の授業で各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1N

10838

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 10

10839

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1P

10840

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1Q

10841

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

- * 日常点評価
3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1R

10842

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
 - ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
 - ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
 - ・英文の事実と意見を区別できる。
 - ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
 - ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
 - ・推論や結論を導くことができる。
 - ・グラフ、図、表などが読み取れる。
 - ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1S

10843

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1T

10844

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1U

10845

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語3 1V

10846

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 前期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、改善することをねらいとしている。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得する。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- ・スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- ・知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- ・英文の事実と意見を区別できる。
- ・主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- ・言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- ・推論や結論を導くことができる。
- ・グラフ、図、表などが読み取れる。
- ・英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1A

10771

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1B

10772

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1C

10773

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1D

10774

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1E

10775

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1F

10776

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1G

10777

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1H

10778

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 11

10779

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1J

10780

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

- * 日常点評価
- 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1K

10781

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1L

10901

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。

- ・ テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- ・ 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- ・ テキストの中の事実と意見を区別できる。
- ・ 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- ・ テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- ・ 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
- ・ グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1M

10902

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1N

10903

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 10

10904

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1P

10905

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1Q

10906

担当者名 / Instructor MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1R

10907

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1S

10908

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1T

10909

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1U

10910

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語4 1V

10911

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生 後期集中(英語重視コースのみ)(週1回・1単位・原則として日本人教員担当。ただし、レベル4とEAPはネイティブ・スピーカー教員担当)
この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、教育、福祉、ジェンダー、メディア、グローバル化など)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

- クラスごとの到達目標は、レベルによって異なります。
- ・テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
 - ・支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
 - ・テキストの中の事実と意見を区別できる。
 - ・主題に関する著者の姿勢を理解できる。
 - ・テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
 - ・同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。
 - ・グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回
に各担当者より指示します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

各担当者より指示します。

教科書 / Textbooks

初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books

各担当者より指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

各担当者より指示します。

その他 / Others

英語6 1

12173

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 2

12174

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 3

12176

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 4

12175

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 5

12177

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 6

12171

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語67

12172

担当者名 / Instructor 諏訪 共香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語68

12167

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語69

12248

担当者名 / Instructor 諏訪 共香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 10

12249

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 11

12247

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 12

12246

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 13

12245

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 14

12252

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 15

12250

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 16

12253

担当者名 / Instructor 鈴木 盛子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 17

12256

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 18

12257

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 EA

12168

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 EB

12169

担当者名 / Instructor 鈴木 盛子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語6 EC

12170

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 1

10016

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 2

10017

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語73

10018

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語74

10019

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語75

10020

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語76

10021

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語77

10022

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語78

10025

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語79

10023

担当者名 / Instructor RITCHIE ZANE AARON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 10

10024

担当者名 / Instructor YAMASHITA TATE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 11

10155

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 12

10139

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 13

10156

担当者名 / Instructor RITCHIE ZANE AARON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 14

10154

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 15

10157

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 16

10158

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 17

10165

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 18

10166

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 EA

10140

担当者名 / Instructor CRAWFORD LINDA B.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 EB

10141

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語7 EC

10142

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(英語重視・専修コース)English Workshop II (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語8 EA

11401

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語8 EB

11402

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語8 EC

11403

担当者名 / Instructor AUGUSTINE MORRIS J.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

教科書については初回の授業で各担当者より指示します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語特別講義 1A

10563

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

This course is designed to enable students to develop competency in the four skills. Each class will have a listening component, speaking component, reading component and writing component. The tasks will help you understand English at an intermediate level. These lessons will be content-based, covering issues in lifestyle, family, relationships and society.

到達目標 / Attainment Objectives

The main goal of this class is to improve students' understanding of the topics covered. Students will learn some high-frequency vocabulary for these topics. Another goal is to improve communicative ability by working in small groups to discuss key concepts of the issues covered.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

None.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Course Introduction and Overview	
2	Forever Single	
3	Last Chance	
4	The Unborn Child	
5	Taking Care of Mother	
6	An International Marriage	
7	20 Years of Pain	
8	Revision/Test	
9	Happily Ever After	
10	Doing The Right Thing	
11	The Right to Die	
12	Should The Dead Help The Living	
13	A Woman's Place	
14	To Tell or Not to Tell	
15	Revision/Test	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

To prepare for the tests, students should review the units covered in the text and any supplementary material that is used in class.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	0 %	Two tests will be given. These tests will be based on materials covered in class. Each test is worth 50%.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Regular attendance is encouraged, as the material covered in class is what the tests are based on.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Impact Issues	Richard R. Day and Junko Yamanaka // 962-00-1480-4 //

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

None

その他 / Others

英語特別講義 1B

11681

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では4技能すべてをカバーしますが、特に語彙力とリスニング力を強化します。「留守電」「往復航空券」「画像添付」など、英語でどう表現するのでしょうか。書いたり、聞いたり、復唱したりすることによって、語彙の定着を図ります。また、比較的短いエッセイのリーディングにも毎回取り組んでもらいますので、わからない単語を文脈上で類推するための練習にもなります。

到達目標 / Attainment Objectives

- ①英語の語彙力の強化。
- ②リーディングやリスニングにおいて、文脈上での類推力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月11日	イントロダクション、Lesson 1&2: Leisure	
4月25日	Lesson 3&4: Traveling by Air, Lesson 13: Japanese Culture (1)	
5月9日	Lesson 5&6: Electric Appliances	
5月23日	中間テスト	
6月6日	Lesson 7&8: Health and Medicine, Lesson 14: Japanese Culture (2)	
6月20日	Lesson 9&10: Talking on the Telephone, Lesson 15 Japanese Culture (3)	
7月4日	Lesson 11&12: Eating Out	
7月18日	期末テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	期末テスト
日常点・その他	50 %	中間テスト

詳細は初回の授業時に説明します。必ず出席してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業中にさまざまな課題を課しますので、集中して取り組んでください。辞書を持参しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Word Watch コンテキストで学ぶ英単語とリーディング	堀口誠信/Richard Mickelson/南雲堂/978-4-523-17559-9/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

その他の注意事項については、初回の授業時に説明します。

英語特別講義 1C

12508

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

新TOEICの問題をこなしながら、基礎英語力の向上をめざす。リスニング、文法、リーディングをバランスよくカバーする。

到達目標 / Attainment Objectives

英語の基礎能力をしっかりと身に着ける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	Test(1),Test(2)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

受講上の注意事項に関しては、最初の授業で、説明する。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
More Power for the TOEIC TEST	Noboru Matsuoka / 金星堂 / 978-4-7647-3838-6 C1082 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 1D

10585

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

This course is designed to enable students to develop competency in the four skills. Each class will have a listening component, speaking component, reading component and writing component. The tasks will help you understand English at an intermediate level. These lessons will be theme based, covering subjects such as transportation, housing, inventions, recreation time, and movies.

到達目標 / Attainment Objectives

The main goal of this class is to improve students' understanding of the topics covered. Students will learn some high frequency vocabulary for these topics. Another goal is to improve communicative ability, by working in small groups to discuss key concepts and ideas related to the themes.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

None.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Course Introduction and Overview	
2	Unit 2 Caught In The Rush	
3	Unit 2 Caught In The Rush	
4	Unit 3 Time For A Change	
5	Unit 3 Time For A Change	
6	Unit 7 What' s This Used For	
7	Unit 7 What' s this Used For	
8	Revision/Test	
9	Unit 9 Back To The Future	
10	Unit 9 Back To The Future	
11	Unit 10 I Don' t Like Working On Weekends	
12	Unit 10 I Don' t Like Working On Weekends	
13	Unit 13 Good Book, Terrible Movie	
14	Unit 13 Good Book Terrible Movie	
15	Revision/Test	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

To prepare for the tests, students should review the units covered in the text and any supplementary material that is used in class.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	0 %	Two tests will be given. These tests will be based on materials covered in class. Each test is worth 50%.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Regular attendance is encouraged, as the material covered in class is what the tests are based on.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Interchange 2 (Third Edition)	Jack C. Richards // 0-521-60194-0 //

参考書 / Reference Books

None.

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

None.

その他 / Others

英語特別講義 1E

11675

担当者名 / Instructor 石原 浩澄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

2週間に1回の授業です。注意してください。授業では受講生の予習をもとに作業を行いませんので、予習は不可欠です。第1回目のオリエンテーションで説明するので、必ず出席すること。また第1回目からテキストに入りますので受講生は目を通しておいてください。

到達目標 / Attainment Objectives

平易な英文を読んだり聞いたりすることを基礎に、英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)の基礎を確認し、さらにそれを発展させること。同時にわたしたちのまわりにあるさまざまな問題にも関心を向けること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回(9月26日)	オリエンテーション、UNIT 1 (UNIT 2)	
第2回(10月10日)	UNIT 3 & UNIT 4	
第3回(10月24日)	UNIT 5 & UNIT 6	
第4回(11月7日)	第1回 テスト	
第5回(11月21日)	UNIT 7 & UNIT 8	
第6回(12月5日)	UNIT 9 & UNIT 10	
第7回(12月19日)	UNIT 11 & UNIT 12	
第8回(1月16日)	第2回 テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

指示された自宅学習を着実にこなすこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	2回のテスト および 日常点

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Opposing Views Welcome	B.Porter & T. Nishimoto / 成美堂 / 4-7919-0064-2 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 1F

11691

担当者名 / Instructor DOMJANCIC NICHOLAS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

英語特別講義 1G

11676

担当人名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

映画教材 (Notting Hill) を使って総合的な英語学習を行う。実際に映画の一部を視聴しながら、リスニングはもとより、役に立つ口語表現、ボキャブラリー、ストーリーの要約リーディング、文法事項を学習する。

到達目標 / Attainment Objectives

英語の基礎をしっかりと身に着ける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

あらかじめ映画 (Notting Hill) を視聴していると全体の流れがわかりやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	Test(1), Test(2)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

受講上の注意事項に関しては、最初の授業で、説明する。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
English Grammar in Focus	Mayumi Hamada, Hiromi Akimoto / Macmillan / 4-7773-6078-4 C3082 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 2A

10562

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course is designed to provide students with a background in academic discourse within the context of an English as a second language(ESL/FI)environment. Its focus is upon global issues within the 21st century and deals with current problems the world is experiencing in relation to people, events and situations, etc. Topics will be examined from a socio-political perspective and cover such subjects areas as peace, politics, human rights, religion and the environment, etc.

到達目標 / Attainment Objectives

Its approach is linguistic and concentration upon discourses as well as reading, writing and research skills (inclusive of computer assisted learning), while at the same time stimulating intellectual interest through provocative subject matter. Where relevant, each lesson unit will be supplemented with multimedia materials (DVDs, videos, etc.) to enhance the power of the subjects being covered.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

Students are required to involve themselves in class activities in both oral and written contexts that actively involve them in the use of the English language. Homework assignments and class activities are intensive and designed specifically to provide an opportunity for students to be able to develop higher controlled use and understanding of the English Language and an environment in which to apply the academic tools of formal discourse, critical thinking, and argumentation.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
Unit One :	Shouldering the Weight of the World : The United Nations' Secretary-General, Past & Present -- Kofi Annan & Ban Ki-Moon (Week 1-2)	
Unit Two :	Riding the Seesaw of Radical Climate Change : The Problems of Global Warming (Week 3-4)	
Unit Three :	Pulling Out in Victory : The Crisis of Iraq and How to Accomplish Peace -- Sunni vs. Shia. & The Problem of the American Occupation. (Week 6-7)	
Unit Four :	Living with Fear : The Problem of Global Terrorism. (Week 8-9)	
Unit Five :	Nuclear Nightmare : The Iran Crisis & the North Korea Problem. (Week 11-12)	
Unit Six :	Life, Life, Liberty and the Pursuit of Safety : Human Rights & Democracy. (Week 13-14)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

Grades will be awarded on the basis of oral and written assignments, formal examinations and participation. All students will be expected to attend classes regularly and actively participate in all its activities. The distribution of marks consists of five components.

1. Exam One (45-60 minutes) -- Maximum of 20 Marks (All students must take this exam to pass the course)
2. Exam Two (45-60 minutes) -- Maximum of 20 Marks (All students must take this exam to pass the course)
3. Oral Presentation (10-15 minutes) [Group] -- Maximum of 20 Marks (Topic chosen in consultation with the instructor)
4. Final Exam (45-60 minutes) -- Maximum of 20 Marks (All students must take this exam to pass the course)
5. Participation -- Maximum of 20 Marks

Examination Schedule

Exam One : Unit One & Two (Week 5)

Exam Two : Unit Three & Four (Week 10)

Final Exam : Unit Five & Six (Week 15)

Oral Presentation Schedule

Group Oral Presentation will be given throughout the course starting from Unit Three.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Critical Decisions : The Challenge of the 21st Century. (A Comprehensive 4 Skills & CAL ESL/FI Course) Intermediate Level (2007)	Tkaschow, Dwight A. / / /

This textbook is a reading & work skills package that will be supplied by the instructor throughout the course.

参考書 / Reference Books

A list of useful references will be supplied by the instructor. Also any good English/Japanese dictionary.

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Internet website information related to the course will be supplied by the instructor as it is needed.

その他 / Others

Attendance of 2/3 of the class is compulsory. Students must write all exams and be involved in a group oral presentation to pass the course. Also students should have good basic skills in the use of a word processor and the Internet, i.e. use of e-mail, web browsers, etc.

英語特別講義 2B

11671

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

このクラスでは、英文の構造のパターンを学習しながらリーディング力をつけていきます。まず英文の論理的展開のパターンを学び、次に内容理解を深めていきます。英文の論理的展開は図表を使いながら学習しますので、思考技術を磨く練習にもなります。

到達目標 / Attainment Objectives

- ① 英文の主な論理的展開のパターンを知る。
- ② 英文の構造への理解を深めることによって、より速く読めるようにする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月11日	イントロダクション、Unit 1: Conclusions/Reasons	
4月18日	Unit 1: Conclusions/Reasons, Unit 2: Analysis	
4月25日	Unit 2: Analysis, Unit 3: Theory/Proof	
5月2日	Unit 3: Theory/Proof, Unit 4: Controversy	
5月9日	Unit 4: Controversy, Unit 5: Comparison/Contrast	
5月16日	Unit 5: Comparison/Contrast, Unit 6: Classification	
5月23日	Unit 6: Classification, Unit 7: Instructions	
5月30日	中間テスト	
6月6日	Unit 7: Instructions, Unit 8: Chronological Order (History)	
6月13日	Unit 8: Chronological Order (History), Unit 9: Cause & Effect	
6月20日	Unit 9: Cause & Effect, Unit 10: Process	
6月27日	Unit 10: Process, Unit 11: Explanation (New Product)	
7月4日	Unit 11: Explanation (New Product), Unit 12: Definition	
7月11日	Unit 12: Definition, Unit 13: Explanation (Statistics)	
7月18日	期末テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	期末テスト
日常点・その他	50 %	中間テスト

詳細は初回の授業時に説明します。必ず出席してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業中にさまざまな課題を課しますので、集中して取り組んでください。辞書を持参しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Skills for Better Reading 構造で読む英文エッセイ	石谷由美子/John Wallis, Suzanne Embury/南雲堂/4-523-17505-5/イ

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

その他の注意事項については、初回の授業時に説明します。

英語特別講義 2C

12507

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

アジアの若者文化を扱ったトピックを通して総合的な英語力の向上を目指します。授業では、英文を読み、聞き、内容に準じた練習問題をします。音読やシャドーイングを通して意味のまとまりごとの情報処理能力を身につけます。また、リズム・イントネーションなど音声面での知識を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 英語の読解力と聴解力を中心に四技能を伸ばす。
- 2) リズム・イントネーションなど音声面の知識を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4月13日	Orientation	Chapter 1 Korean TV Dramas
4月20日	Chapter 2 Indian Traffic	
4月27日	Chapter 3 Hello Kitty in Singapore	
5月11日	Chapter 4 Wedding Plans	
5月18日	Chapter 5 Blood Type in Korea	
5月25日	Chapter 6 Bollywood Movies	
6月1日	Test (1)	
6月8日	Chapter 7 Chinese as a Foreign Language	
6月15日	Chapter 8 Indonesian Elephant Doctor	
6月22日	Chapter 9 Medical Tourism in the Philippines	
6月29日	Chapter 10 One Billion Couch Potatoes	
7月6日	Chapter 11 Mongolian Women	
7月13日	Chapter 12 Food Culture in Taiwan	
7月20日	Test (2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	第7回(6月1日)と第14回(7月20日)にテストを行います。
日常点・その他	20 %	授業毎の課題とレポート

詳細は初回の授業時に説明します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hello, Asia!	Diane Hawley Nagamoto/ Robert J. Fouser / 田地野 彰/南雲堂/978-4-523-17542-1/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 2D

10584

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回映画の一部を視聴し、1)背景知識を理解すること、2)英単語を易しい英語で言い換えること、3)あらすじの要約をすること、4)口語表現の聞き取ること、5)トピックに関する短い読み物を速読すること、6)自分の意見を短い英文で表現すること、等を繰り返し練習する。

到達目標 / Attainment Objectives

映画「フォレスト・ガンブ 一期一会」を題材にしたテキストを用いて、総合的な英語力(特にリスニングとリーディング)を養うことを目標とする。又、映画が取り上げている1950年代から80年代にアメリカで起こった出来事に関する理解を深めることも目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
Week 1	Introduction	
Week2	The Ku Klux Klan	
Week3	Elvis Presley	
Week4	John F. Kennedy	
Week5	The Folk Song Movement	
Week6	The Vietnam War	
Week7	Vietnam War Veterans and PTSD	
Week8	Mid-Term Exam	
Week9	Hippies	
Week10	John Lennon	
Week11	Watergate	
Week12	Apple Computer	
Week13	Bicentennial Celebrations	
Week14	AIDS	
Week15	Final Exam	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習の必要は無いが、授業に出席できなかった週については、映画の視聴も含めて各自自宅で学習すること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	100 %	映画の内容に関する理解、語彙・表現、トピックに関する読み物の読解を評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
American History in Focus	Hiromi Akimoto and Mayumi Hamada / Macmillan LanguageHouse / 4777360288 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 2E

10640

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

社会科学分野に関連したエッセイを読み、リーディングスキルの養成を目指します。授業では、英文を読み、聞き、書く練習をします。速読の方法として、英文を構造でとらえ、論理的展開をつかむ練習を行います。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 英文の構造を理解し、論理的な読み方を習得する。
2. 社会科学関係の基礎的な知識を学ぶ。
3. 専門分野でよく使う単語などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
10月1日	Orientation	Conclusions / Reasons
10月8日	Analysis / Boom	
10月15日	Analysis / Social Phenomena	
10月22日	Theory / Proof	
10月29日	Controversy	
11月5日	Comparison / Contrast	
11月12日	Test (1)	
11月19日	Classification	
11月26日	Chronological Order (History)	
12月3日	Cause & Effect	
12月10日	Process	
12月17日	Explanation (Theory)	Explanation (Statistics)
12月24日	Definition	
1月7日	Test (2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	第7回(11月12日)と第14回(1月7日)にテストを行います。
日常点・その他	20 %	授業毎の課題とレポート

詳細は初回の授業時に説明します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Outlook on Society	石谷由美子 / Emma Andrews / 南雲堂 / 978-4-523-17560-5 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 2F

11674

担当者名 / Instructor RITCHIE ZANE AARON

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

言語文化系のコンテンツを軸とする中規模クラスです。具体的な内容はオンラインシラバスに掲載しますので、登録前に必ず参照してください。

到達目標 / Attainment Objectives

大学卒業までに最低限身につけておきたい英語コミュニケーション能力を総合的に補強することを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	授業中に2回試験をします。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

英語特別講義 2G

11690

担当者名 / Instructor 佐藤 渉

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

弁護士を主人公にした映画Rainmakerを教材に、4つの技能の基礎を固める。リスニングにとどまらず、適宜リーディング、ライティング、ディスカッションのアクティビティを行う。

到達目標 / Attainment Objectives

アメリカの司法制度を学びつつ、基本的な語彙を習得する。耳にした情報を基に、音声/文字テキストでアウトプットすることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	unit 1	
2	Unit 2	
3	Unit 3	
4	Unit 4	
5	Unit 5	
6	Unit 6	
7	Unit 7	
8	Review Quiz (1)	
9	Unit 8	
10	Unit 9	
11	Unit 10	
12	Unit 11	
13	Unit 12	
14	Review Quiz (2)	
15	to be announced	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、レビュー・クイズx2、リスニング・クイズ、ライティング課題

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
American Justice in Focus	Hiromi Akimoto, Mayumi Hamada / Macmillan / 978-4-7773-6167-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義 2H

12531

担当者名 / Instructor RITCHIE ZANE AARON

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

言語文化系のコンテンツを軸とする中規模クラスです。具体的な内容はオンラインシラバスに掲載しますので、登録前に必ず参照してください。

到達目標 / Attainment Objectives

大学卒業までに最低限身につけておきたい英語コミュニケーション能力を総合的に補強することを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	授業中に2回試験をします。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

ドイツ語・基礎 2A

10201

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化、人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を、語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、曜日・月・季節などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-10		アルファベット、発音の基礎、主語となる名詞・人称代名詞、動詞の現在人称変化、名詞の性と数、冠詞、所有冠詞・否定冠詞、あいさつ、数詞、値段の表現
11-20		不規則動詞の現在人称変化、疑問詞、格の用法、定冠詞類、人称代名詞の格変化、時刻、命令と依頼
21-30		前置詞、助動詞、分離動詞、曜日・月・季節

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25297-1 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合2 8A

11856

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

〈初修重視コース〉受講者が「展開」「表現2」と並行して受ける科目です。視聴覚教材を活用してドイツ語圏の多様な側面について学ぶことで、「展開」「表現2」で得たことばの知識を文化と社会のコンテキストの中に位置づけます。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語そのものに関しては「展開」「表現2」に準じます。ドイツ語圏の文化と社会に関しては、ドイツ語を知らなかったこれまでの見方を場合によっては訂正したり、場合によっては正しかったことを確認しつつ豊かにするといった作業のできることが目標になります。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	「展開」「表現2」の進捗と歩調を合わせながら、また理解度を勘案しながら授業を進めます。「展開」「表現2」を参照してください。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

特定のテキストは使用せず、適宜プリントを配布します。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I 3A

11854

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-5		アルファベット、発音の基礎、主語となる名詞・人称代名詞、動詞の現在人称変化、名詞の性と数、冠詞、所有冠詞・否定冠詞、あいさつ、数詞、値段の表現
6-10		不規則動詞の現在人称変化、疑問詞、格の用法、定冠詞類、人称代名詞の格変化、時刻、命令と依頼
11-15		定冠詞類、前置詞、助動詞、分離動詞、曜日・月・季節

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ(コンパクト版)	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25307-7 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I 3B

10038

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-5		アルファベット、発音の基礎、主語となる名詞・人称代名詞、動詞の現在人称変化、名詞の性と数、冠詞、所有冠詞・否定冠詞、あいさつ、数詞、値段の表現
6-10		不規則動詞の現在人称変化、疑問詞、格の用法、定冠詞類、人称代名詞の格変化、時刻、命令と依頼
11-15		定冠詞類、前置詞、助動詞、分離動詞、曜日・月・季節

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ(コンパクト版)	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25307-7 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I 3C

11756

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-5		アルファベット、発音の基礎、主語となる名詞・人称代名詞、動詞の現在人称変化、名詞の性と数、冠詞、所有冠詞・否定冠詞、あいさつ、数詞、値段の表現
6-10		不規則動詞の現在人称変化、疑問詞、格の用法、定冠詞類、人称代名詞の格変化、時刻、命令と依頼
11-15		定冠詞類、前置詞、助動詞、分離動詞、曜日・月・季節

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ(コンパクト版)	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25307-7 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II 3A

11919

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が書けるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-5		動詞の過去と現在完了、接続詞と副文、受動文、序数・日付
6-10		非人称表現、zu不定詞、形容詞の格変化・比較変化
11-15		再帰代名詞・再帰動詞、関係代名詞、接続法

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ(コンパクト版)	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25307-7 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II 3B

10094

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が書けるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-5		動詞の過去と現在完了、接続詞と副文、受動文、序数・日付
6-10		非人称表現、zu不定詞、形容詞の格変化・比較変化
11-15		再帰代名詞・再帰動詞、関係代名詞、接続法

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ(コンパクト版)	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25307-7 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II 3C

11811

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が書けるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-5		動詞の過去と現在完了、接続詞と副文、受動文、序数・日付
6-10		非人称表現、zu不定詞、形容詞の格変化・比較変化
11-15		再帰代名詞・再帰動詞、関係代名詞、接続法

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ(コンパクト版)	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25307-7 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・展開 8A

10168

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひとつおりの学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。また、基本的な語彙を使った短い文章を発話でき、書けるようになることを目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-10		動詞の過去と現在完了、形容詞の格変化・比較変化
11-20		再帰代名詞・再帰動詞、非人称表現、関係代名詞、序数と日付
21-30		受動態、前置詞の多様な形態、非現実話法、間接話法

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	1年間のドイツ語学習の熟達度検証としてドイツ語検定試験4級相当レベルの試験を実施します。
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「基礎」で使用した「文法読本 — ヨーロッパとは何か」を引き続き使います。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・展開 2A

10266

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひとつおりの学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-10		動詞の過去と現在完了、接続詞と副文、受動文、序数・日付
11-20		非人称表現、zu不定詞、形容詞の格変化・比較変化
21-30		再帰代名詞・再帰動詞、関係代名詞、接続法

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	1年間のドイツ語学習の熟達度検証としてドイツ語検定試験4級相当レベルの筆記試験を実施します。
日常点・その他	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-25297-1 C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現2 4A

11351

担当者名 / Instructor CHRIST-KAGOSHIMA G.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「表現1」で使用した「Schritte international 1」を引き続き使います。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現2 4B

11355

担当者名 / Instructor YUASA MARGARETHE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「表現1」で使用した「Schritte international 1」を引き続き使います。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現2 8A

12243

担当者名 / Instructor CRAMER THOMAS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「表現1」で使用した「Schritte international 1」を引き続き使います。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 2A

11757

担当者名 / Instructor FRANZ EDGAR

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4		名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5-7		家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8-10		果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11-13		住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、100から上の数
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 3A

10027

担当者名 / Instructor CHRIST-KAGOSHIMA G.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。「基礎」の授業で習う文法事項の理解の上に立って的確な表現を身につけましょう。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4		名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5-7		家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8-10		果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11-13		住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、100から上の数
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 3B

11881

担当者名 / Instructor FRANZ EDGAR

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4		名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5-7		家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8-10		果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11-13		住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、100から上の数
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 3C

10149

担当者名 / Instructor MUELLER BEATE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4		名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5-7		家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8-10		果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11-13		住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、100から上の数
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 2A

11812

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

- ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 3A

10095

担当者名 / Instructor CHRIST-KAGOSHIMA G.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

- ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 3B

11920

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

- ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 3C

10224

担当者名 / Instructor MUELLER BEATE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1		「表現1」の復習
2-5		一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9		天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13		能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15		復習とまとめのテスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

- ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

フランス語・基礎 2A

10866

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。
 併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・総合2 8A

12251

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・総合I 3A

10036

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法と習得単語数1000語のフランス語初級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

ミニ・デュ・コンセール、シルヴィ・フジワラ他、朝日出版、生協書籍部で販売。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・総合I 3B

10039

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法と習得単語数1000語のフランス語初級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

ミニ・デュ・コンセル、シルヴィ・フジワラ他、朝日出版、生協書籍部で販売。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・総合I 3C

10160

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法と習得単語数1000語のフランス語初級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80% 日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ミニ・デュ・コンセル、シルヴィ・フジワラ他、朝日出版、生協書籍部で販売。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。
 併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・総合II 3A

10096

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80% 日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・総合II 3B

10226

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80% 日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・総合II 3C

10227

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80% 日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・展開 8A

10202

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級文法と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80% 日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・展開 2A

10933

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級文法と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	
日常点・その他	20 %	
定期試験80% 日常点評価20%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・conseilを使用する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

- ① 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、② 外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③ 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現2 8A

11740

担当者名 / Instructor LORRILLARD OLIVIER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。): 100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
MONSIEUR POURQUOI	Olivier Lorrillard, Ryo Oda / SURUGADAI-SHUPPANSHA / 978-4-411-00924-1 /

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ① 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、② 外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③ 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現2 4A

11875

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind

割合 / Percentage

評価基準等 / Grading Criteria etc.

日常点・その他

100 %

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。): 100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ① 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、② 外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③ 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現2 4B

11876

担当者名 / Instructor LORRILLARD OLIVIER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

<u>授業日(第N回)</u>	<u>テーマ / Theme</u>	<u>キーワード / Key Word</u>
-----------------	--------------------	-------------------------

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

<u>種別 / Kind</u>	<u>割合 / Percentage</u>	<u>評価基準等 / Grading Criteria etc.</u>
------------------	------------------------	--------------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。): 100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

<u>書名 / Title</u>	<u>出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment</u>
MONSIEUR POURQUOI	Olivier Lorrillard, Ryo Oda / SURUGADAI-SHUPPANSHA / 978-4-411-00924-1 /

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

- ① 外国留学ガイドンスや異文化体験報告会、留学フェア、② 外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③ 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現I 2A

10161

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。): 100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。
併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・表現I 3A

11749

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
----------	-------------	------------------

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	
---------	-------	--

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・表現I 3B

11755

担当者名 / Instructor GRAS ALEXANDRE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind

割合 / Percentage

評価基準等 / Grading Criteria etc.

日常点・その他

100 %

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・表現I 3C

11867

担当者名 / Instructor GRAS ALEXANDRE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)

テーマ / Theme

キーワード / Key Word

詳細は各担当者より初回の授業で説明する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind

割合 / Percentage

評価基準等 / Grading Criteria etc.

日常点・その他

100 %

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。

併せて、①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

フランス語・表現II 2A

10225

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現II 3A

11282

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現II 3B

11813

担当者名 / Instructor GRAS ALEXANDRE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

フランス語・表現II 3C

11921

担当者名 / Instructor GRAS ALEXANDRE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な語彙を定着させる。

フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

- ①外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、②外国語コミュニケーションルーム企画、
- ③初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

中国語・基礎 2A

10736

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第4週～第6週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第6週～第8週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第9週～第11週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第12週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・基礎 2B

10737

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第4週～第6週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第6週～第8週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第9週～第11週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第12週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・基礎 2C

10867

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第4週～第6週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第6週～第8週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第9週～第11週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第12週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・基礎 2D

10868

担当者名 / Instructor 永井 英美、尾崎 和子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第4週～第6週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第6週～第8週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第9週～第11週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第12週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合2 8A

12312

担当者名 / Instructor 浦元 里花

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルのリスニング能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日のリスニング試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《楽しい中国語会話－中級編－》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・総合2 8B

12313

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルのリスニング能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日のリスニング試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《楽しい中国語会話－中級編－》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・総合2 8C

12314

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルのリスニング能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日のリスニング試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《楽しい中国語会話－中級編－》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・総合2 8D

12315

担当者名 / Instructor 尾崎 和子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルのリスニング能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日のリスニング試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《楽しい中国語会話－中級編－》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・総合I 3A

10033

担当者名 / Instructor 永井 英美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合I 3B

10034

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合I 3C

10035

担当者名 / Instructor 大嶋 伸尚

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合I 3D

10162

担当者名 / Instructor 大嶋 伸尚

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合I 3E

10152

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合I 3F

10163

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合I 3G

10164

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。

この授業は、正しい中国語の発音(ピンイン)や声調、基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得することを目標とする。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3A

10099

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第6課～第7課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅰ》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3B

10100

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3C

10105

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅰ》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3D

10234

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅰ》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3E

10235

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3F

10236

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・総合II 3G

10237

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、英語重視コースの「中国語・総合1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合1」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと学習し、あいさつや自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになることを目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	筆記試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅰ》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・展開 8A

10061

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の文法体系の全体図を身に付けることができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルの文法能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

授業スケジュール / Course Schedule**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

-
- * 出席、日常的な取り組み及び統一筆記試験
 - * 追試を伴わない統一筆記試験を定期試験期間中に実施

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・展開 8B

10062

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の文法体系の全体図を身に付けることができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルの文法能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

授業スケジュール / Course Schedule**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

-
- * 出席、日常的な取り組み及び統一筆記試験
 - * 追試を伴わない統一筆記試験を定期試験期間中に実施

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・展開 8C

10203

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の文法体系の全体図を身に付けることができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルの文法能力を身に付けることができる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

-
- * 出席、日常的な取り組み及び統一筆記試験
 - * 追試を伴わない統一筆記試験を定期試験期間中に実施

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 8D

10204

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の文法体系の全体図を身に付けることができる。
中国語検定試験で言えば、4級相当レベルの文法能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

授業スケジュール / Course Schedule**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

-
- * 出席、日常的な取り組み及び統一筆記試験
 - * 追試を伴わない統一筆記試験を定期試験期間中に実施

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・展開 2A

10804

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおりの学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・展開 2B

10805

担当者名 / Instructor 鷺尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおりの学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・展開 2C

10931

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおりの学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・展開 2D

10932

担当者名 / Instructor 永井 英美、尾崎 和子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおりの学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	一学期の復習やまとめを行う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	40 %	
日常点・その他	60 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組みなど)60%		
統一筆記試験 40%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現2 4A

11742

担当者名 / Instructor 徐 林丹

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 4B

11743

担当者名 / Instructor 黄麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 4C

11744

担当者名 / Instructor 劉 愛群

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 4D

11745

担当者名 / Instructor 吉田 慶子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話―中級編―》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 4E

11746

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 4F

11747

担当者名 / Instructor 官 文娜

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 8A

11862

担当者名 / Instructor 徐 林丹

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

中国語・表現2 8B

11863

担当者名 / Instructor 劉 愛群

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 8C

11864

担当者名 / Instructor 吉田 慶子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現2 8D

11865

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストに設定した場面のコミュニケーションに必要な会話を習得することができる。
中国語検定試験で言えば、4級に近いレベルの会話能力を身に付けることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

(初修重視コース)
週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。
(英語重視コース)
英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

* 出席、日常的な取り組み及び最終講義日の口頭試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

(初修重視コース)
《コミュニカティブ中国語Ⅱ》立命館大学中国語部会編
(英語重視コース)
《楽しい中国語会話—中級編—》李青他編・晃洋書房出版社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 2A

10029

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 2B

10030

担当者名 / Instructor 胡 玉華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 2C

10146

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 2D

10169

担当者名 / Instructor 胡 玉華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第2課～第4課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第5課～第7課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第8課～第10課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第11課～第12課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3A

11750

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3B

11751

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3C

11752

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3D

11753

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語 I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3E

11878

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3F

11879

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現I 3G

11868

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業であり、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。挨拶と自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。そのために発音や必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第4週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。	
第5週～第7週	テキストの第1課～第2課を学習する。	
第8週～第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週～第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週～第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

早い段階から、副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現Ⅱ 2A

10097

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 2B

10098

担当者名 / Instructor 黄麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 2C

10228

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 2D

10229

担当者名 / Instructor 黄麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第4課～第6課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの第7課～第10課を学習する。	
第14週	テキストの第11課を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語Ⅱ》 立命館大学中国語部会編

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3A

11814

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3B

11815

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3C

11816

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3D

11817

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3E

11922

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3F

11923

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

中国語・表現II 3G

11924

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を終了した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎または中国語・総合1」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につけ、中国語による基本的なコミュニケーションの能力を養成することを目標とする。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本会話ができるようにする。そのために必要な語彙・言い回しなどを、主として耳で聴き、口に出して練習することを通じて獲得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週～第5週	テキストの第1課～第3課を学習する。	
第6週～第9週	テキストの第8課～第9課を学習する。	
第10週～第13週	テキストの受け身文を学習する。	
第14週	使役文を学習する。	
第15週	最終講義日の口頭試験。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
平常点(出席、小テスト、日常的な取り組み、最終講義日の口頭試験)100%		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

《コミュニケーション中国語I》 立命館大学中国語部会編 郁文堂

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

スペイン語・基礎 2A

10738

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳、田中 由美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書の前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	Hola, ¿qué tal?	
	Un café, por favor.	
	Soy estudiante.	
	La Plaza Mayor está en el centro.	
	Estudio español con una profesora muy simpática.	
	¿Qué comemos?	
	Me gusta mucho la música.	
	Quiero verte esta noche.	
	¿Cuántos años tienes?	
	Me levanto muy temprano.	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プラサ・マヨール I ソフト版	青砥清一他 / 朝日出版 / 4-255-55019-0 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・基礎 2B

10059

担当者名 / Instructor 数中 暁、村上 由利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書の前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	Hola, ¿qué tal?	
	Un café, por favor.	
	Soy estudiante.	
	La Plaza Mayor está en el centro.	
	Estudio español con una profesora muy simpática.	
	¿Qué comemos?	
	Me gusta mucho la música.	
	Quiero verte esta noche.	
	¿Cuántos años tienes?	
	Me levanto muy temprano.	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プラサ・マヨール I ソフト版	青砥清一他／朝日出版／4-255-55019-0／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
(a) 西和中辞典	桑名一博、他／小学館／4-09-515501-9／
(b) クラウン西和辞典	原誠、他／三省堂／4-385-12201-6／
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00046-8／
(d) プロGRESSIVEスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合2 8A

11741

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・総合2 8B

11880

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・総合I 3A

10026

担当者名 / Instructor 坂巻 素子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書のほぼ前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合I 3B

10150

担当者名 / Instructor 田中 由美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書のほぼ前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プロGRESSIVEスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合I 3C

10835

担当者名 / Instructor 坂巻 素子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書のほぼ前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プロGRESSIVEスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合I 3D

11883

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書のほぼ前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プロGRESSIVEスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合I 3E

10167

担当者名 / Instructor 井上 幸孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書のほぼ前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プロGRESSIVEスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合I 3F

11882

担当者名 / Instructor 村上 由利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業、教科書、参考書、評価方法等についての説明。以下のように教科書に沿って進める。教科書のほぼ前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
(a) 西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9 /
(b) クラウン西和辞典	原誠、他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 /
(c) 現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8 /
(d) プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1 /

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(d)でも可。授業でも担当者が紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・総合II 3A

11821

担当者名 / Instructor 井上 幸孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合 I」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合II 3B

11929

担当者名 / Instructor 井上 幸孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合 I」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

前期に使用した教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合II 3C

10107

担当者名 / Instructor 田中 由美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合 I」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合II 3D

10238

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合 I」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ 3E

10239

担当者名 / Instructor 井上 幸孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合Ⅰ」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめ	
	試験	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合II 3F

11930

担当者名 / Instructor 田中 由美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合 I」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /

前期に使用した教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 2A

10808

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語基礎」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(過去形から)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	¿Has comido ya?	
	Ayer estudié mucho.	
	Ayer fui al cine con mis amigos.	
	De niño yo vivía en el campo.	
	¿Estarás en casa mañana?	
	Pórtate bien.	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プラサ・マヨール I ソフト版	青砥清一他／朝日出版／4-255-55019-0／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 2B

10131

担当者名 / Instructor 井上 幸孝、藪中 暁

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語基礎」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(過去形から)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	¿Has comido ya?	
	Ayer estudié mucho.	
	Ayer fui al cine con mis amigos.	
	De niño yo vivía en el campo.	
	¿Estarás en casa mañana?	
	Pórtate bien.	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プラサ・マヨール I ソフト版	青砥清一他／朝日出版／4-255-55019-0／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 8A

11404

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

前年度の「スペイン語基礎」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(直説法未来型、接続法現在程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進捗は変更することもある。	
	Cataratas del Iguazú	
	Templo de la Sagrada Familia	
	Verano en Salamanca	
	Camino de Santiago	
	Ruinas de Tikal	
	Estados Unidos y el Congo	
	Islas Galápagos	
	Catedral de León	
	Glaciares en Patagonia	
	Unión Europea	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	学部統一筆記試験
日常点・その他	50 %	小テスト等(詳しくは担当者から説明する)
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

1回生で習った項目でも完全に理解、習得できていない箇所があれば、そのつど復習し、確実なものにする必要があるでしょう。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
さあ、始めよう！スペイン語	西川喬／同学社／4-8102-0365-4／
2006年度後期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定:<http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 8B

10060

担当者名 / Instructor 井上 幸孝、村上 由利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

前年度の「スペイン語基礎」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(直説法未来型、接続法現在程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進捗は変更することもある。	
	Cataratas del Iguazú	
	Templo de la Sagrada Familia	
	Verano en Salamanca	
	Camino de Santiago	
	Ruinas de Tikal	
	Estados Unidos y el Congo	
	Islas Galápagos	
	Catedral de León	
	Glaciares en Patagonia	
	Unión Europea	
	まとめ	
	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	学部統一筆記試験
日常点・その他	50 %	小テスト等(詳しくは担当者から説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

1回生で習った項目でも完全に理解、習得できていない箇所があれば、そのつど復習し、確実なものにする必要があるでしょう。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
さあ、始めよう！スペイン語	西川喬／同学社／4-8102-0365-4／
2006年度後期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・表現2 4A

11217

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にを行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 4B

11350

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 4C

11219

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	担当者から指示する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 4D

11218

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 4E

11356

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にを行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 4F

11357

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 8A

10138

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にを行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現2 8B

12244

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現I 2A

10143

担当者名 / Instructor RAMOS MARTIN JESUS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 2B

11857

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現I 3A

11730

担当者名 / Instructor RAUL GUERRERO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にを行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

スペイン語・表現I 3B

11877

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現I 3C

11729

担当者名 / Instructor RAUL GUERRERO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	担当者から指示する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現I 3D

10144

担当者名 / Instructor RAUL GUERRERO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現I 3E

11869

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	担当者から指示する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現I 3F

10159

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の基礎的日常生活

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	担当者から指示する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現II 2A

10233

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にを行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現II 2B

11927

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現II 3A

10103

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にを行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現II 3B

10104

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI単位数 / Credit 1授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

<u>授業日(第N回)</u>	<u>テーマ / Theme</u>	<u>キーワード / Key Word</u>
	担当者から指示する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

<u>種別 / Kind</u>	<u>割合 / Percentage</u>	<u>評価基準等 / Grading Criteria etc.</u>
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

スペイン語・表現II 3C

11819

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	担当者から指示する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

スペイン語・表現II 3D

11926

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現II 3E

11820

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

スペイン語・表現II 3F

10232

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語・表現 I の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語の日常会話

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
担当者から指示する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参加型の授業になるので、積極的に授業に参加することが重要である。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

担当者から指示する。

参考書 / Reference Books

担当者から指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

朝鮮語・基礎 2A

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・基礎 2B

10739

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音と子音の習得と発音に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハンゲルの短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・基礎 2C

10869

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音と子音の習得と発音に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハンゲルの短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合2 8A

10145

担当者名 / Instructor 松井 聖一郎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	へヨ体の復習と過去形	
2	数・買い物・時間・日付など	
3	否定形	
4	過去形と接続語尾2	
5	さまざまな接続語尾を使って文を作る練習	
6	尊敬表現	
7	現在・過去連体形	
8	未来連体形	
9	漢字起源の単語(1)・気分と気持ちを表現する	
10	漢字起源の単語(2)・さまざまな思いを伝える	
11	漢字起源の単語(3)・思ったこと・感じたことを述べる	
12	漢字起源の単語(4)・意見の表現の仕方まとめ	
13	復習	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
テキスト以外に適宜プリント教材などを使います	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
自分のすべてを韓国語で口にできる本	小倉星香 / アルク / 4-7574-0171-X /
ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典	油谷幸利 / 小学館 / 4-09-506141-3 /
使える韓国語単語6500	田星姫 / ベレ出版 / 4-86064-027-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合2 8B

10148

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	へヨ体の復習と過去形	
2	数・買い物・時間・日付など	
3	否定形	
4	過去形と接続語尾2	
5	さまざまな接続語尾を使って文を作る練習	
6	尊敬表現	
7	現在・過去連体形	
8	未来連体形	
9	漢字起源の単語(1)・気分と気持ちを表現する	
10	漢字起源の単語(2)・さまざまな思いを伝える	
11	漢字起源の単語(3)・思ったこと・感じたことを述べる	
12	漢字起源の単語(4)・意見の表現の仕方まとめ	
13	復習	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
テキスト以外に適宜プリント教材などを使います	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
自分のすべてを韓国語で口にできる本	小倉星香 / アルク / 4-7574-0171-X /
ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典	油谷幸利 / 小学館 / 4-09-506141-3 /
使える韓国語単語6500	田星姫 / ベレ出版 / 4-86064-027-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合2 8C

12242

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	へヨ体の復習と過去形	
2	数・買い物・時間・日付など	
3	否定形	
4	過去形と接続語尾2	
5	さまざまな接続語尾を使って文を作る練習	
6	尊敬表現	
7	現在・過去連体形	
8	未来連体形	
9	漢字起源の単語(1)・気分と気持ちを表現する	
10	漢字起源の単語(2)・さまざまな思いを伝える	
11	漢字起源の単語(3)・思ったこと・感じたことを述べる	
12	漢字起源の単語(4)・意見の表現の仕方まとめ	
13	復習	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
テキスト以外に適宜プリント教材などを使います	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
自分のすべてを韓国語で口にできる本	小倉星香 / アルク / 4-7574-0171-X /
ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典	油谷幸利 / 小学館 / 4-09-506141-3 /
使える韓国語単語6500	田星姫 / ベレ出版 / 4-86064-027-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合I 3A

10032

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音と子音の習得と発音に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習します。表現の授業とも連携しながら総合2の授業につなげます。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合I 3B

11866

担当者名 / Instructor 庵澄 由香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音と子音の習得と発音に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習します。表現の授業とも連携しながら総合2の授業につなげます。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合I 3C

10153

担当者名 / Instructor 山下 英愛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音と子音の習得と発音に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習します。表現の授業とも連携しながら総合2の授業につなげます。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合II 3A

10106

担当者名 / Instructor 松井 聖一郎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合1で学んだ朝鮮語の文法的知識をいっそう確実なものにするとともに、ハングルの短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにします。表現の授業とも連携しながらハングル検定5級の合格を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

朝鮮語・総合II 3B

10137

担当者名 / Instructor 松井 聖一郎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合1で学んだ朝鮮語の文法的知識をいっそう確実なものにするともに、ハングルの短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにします。表現の授業とも連携しながらハングル検定5級の合格を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙／新幹社／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・総合II 3C

11928

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合1で学んだ朝鮮語の文法的知識をいっそう確実なものにするとともに、ハングルの短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにします。表現の授業とも連携しながらハングル検定5級の合格を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 2A

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・展開 2B

10807

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をいっそう確実なものにするとともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取ったり、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル	///

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 2C

10934

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をいっそう確実なものにするとともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取ったり、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル	///

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・展開 8A

11405

担当者名 / Instructor 梁 貞模

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をよりいっそう確実なものとするとともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取り、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	尊敬形、丁寧な命令・依頼・禁止命令	
2	尊敬の否定形、特殊な尊敬語、接続語尾	
3	現在連体形	
4	現在連体形による表現	
5	未来連体形	
6	未来連体形による表現	
7	過去連体形	
8	過去連体形による表現	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	ハンダ体、引用文、変則用言	
11	へ体(パンマル)	
12	状態変化と受身の表現	
13	「KI」による表現	
14	テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /
『やさしいハングル2』	生協印刷

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 8B

11910

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をよりいっそう確実なものとするとともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取り、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	尊敬形、丁寧な命令・依頼・禁止命令	
2	尊敬の否定形、特殊な尊敬語、接続語尾	
3	現在連体形	
4	現在連体形による表現	
5	未来連体形	
6	未来連体形による表現	
7	過去連体形	
8	過去連体形による表現	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	ハンダ体、引用文、変則用言	
11	へ体(パンマル)	
12	状態変化と受身の表現	
13	「KI」による表現	
14	テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /
『やさしいハングル2』	生協印刷

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 8C

10063

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をよりいっそう確実なものとするとともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取り、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	尊敬形、丁寧な命令・依頼・禁止命令	
2	尊敬の否定形、特殊な尊敬語、接続語尾	
3	現在連体形	
4	現在連体形による表現	
5	未来連体形	
6	未来連体形による表現	
7	過去連体形	
8	過去連体形による表現	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	ハンダ体、引用文、変則用言	
11	へ体(パンマル)	
12	状態変化と受身の表現	
13	「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /
『やさしいハングル2』	生協印刷

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現2 4A

11855

担当者名 / Instructor 盧 載玉

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介・復習	
2	尊敬形	
3	丁寧な命令・依頼・禁止命令	
4	尊敬の否定、接続語尾	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形、可能と不可能	
8	過去連体形	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	意志・未来時制補助語幹を用いる表現	
11	ハンダ体、引用文	
12	へ体:パンマル	
13	状態変化と受身の表現、「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
『やさしいハングル』	新幹社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現2 4B

11861

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介・復習	
2	尊敬形	
3	丁寧な命令・依頼・禁止命令	
4	尊敬の否定、接続語尾	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形、可能と不可能	
8	過去連体形	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	意志・未来時制補助語幹を用いる表現	
11	ハンダ体、引用文	
12	へ体:パンマル	
13	状態変化と受身の表現、「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
『やさしいハングル』	新幹社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現2 4C

11354

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介・復習	
2	尊敬形	
3	丁寧な命令・依頼・禁止命令	
4	尊敬の否定、接続語尾	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形、可能と不可能	
8	過去連体形	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	意志・未来時制補助語幹を用いる表現	
11	ハンダ体、引用文	
12	へ体:パンマル	
13	状態変化と受身の表現、「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
『やさしいハングル』	新幹社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現2 8A

11739

担当者名 / Instructor 盧 載玉

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介・復習	
2	尊敬形	
3	丁寧な命令・依頼・禁止命令	
4	尊敬の否定、接続語尾	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形、可能と不可能	
8	過去連体形	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	意志・未来時制補助語幹を用いる表現	
11	ハンダ体、引用文	
12	へ体:パンマル	
13	状態変化と受身の表現、「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
『やさしいハングル』	新幹社

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現2 8B

11349

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介・復習	
2	尊敬形	
3	丁寧な命令・依頼・禁止命令	
4	尊敬の否定、接続語尾	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形、可能と不可能	
8	過去連体形	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	意志・未来時制補助語幹を用いる表現	
11	ハンダ体、引用文	
12	へ体:パンマル	
13	状態変化と受身の表現、「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
『やさしいハングル』	新幹社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

朝鮮語・表現2 8C

11220

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介・復習	
2	尊敬形	
3	丁寧な命令・依頼・禁止命令	
4	尊敬の否定、接続語尾	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形、可能と不可能	
8	過去連体形	
9	意志・未来時制補助語幹	
10	意志・未来時制補助語幹を用いる表現	
11	ハンダ体、引用文	
12	へ体:パンマル	
13	状態変化と受身の表現、「KI」による表現	
14	テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9 /
『やさしいハングル』	新幹社

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

朝鮮語・表現 I 2A

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現I 2B

10151

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I 2C

10147

担当者名 / Instructor 梁 貞模

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I 3A

11748

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I 3B

10031

担当者名 / Instructor 梁 貞模

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I 3C

11754

担当者名 / Instructor 梁 貞模

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級の合格を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule****(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	///

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解まで	文京洙 / 新幹社 //

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

朝鮮語・表現Ⅱ 2A

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現II 2B

10231

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだハングル文法の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のある物や所や他の人について、作文し、話したりするなど、さまざまな場面やトピックを設定して会話のやりとりを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル	///

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現II 2C

10102

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだハングル文法の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のある物や所や他の人について、作文し、話したりするなど、さまざまな場面やトピックを設定して会話のやりとりを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル	///

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現II 3A

11925

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだハングル文法の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のある物や所や他の人について、作文し、話したりするなど、さまざまな場面やトピックを設定して会話のやりとりを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule****(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
-----------	-----------------	-------------------------------

日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。
---------	-------	------------

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

授業中に指示する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

朝鮮語・表現II 3B

11818

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだハングル文法の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のある物や所や他の人について、作文し、話したりするなど、さまざまな場面やトピックを設定して会話のやりとりを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule****(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks**

授業中に指示する。

参考書 / Reference Books**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****その他 / Others**

朝鮮語・表現II 3C

10101

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだハングル文法の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のある物や所や他の人について、作文し、話したりするなど、さまざまな場面やトピックを設定して会話のやりとりを練習し、表現力のレベルアップを図る。

到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule
(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義日試験あり。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

授業中に指示する。

参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

ドイツ語上級コミュニケーションI K

10975

担当者名 / Instructor MUELLER BEATE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Sprechen und Hoeren stehen Mittelpunkt des Kurses
 Von den Teilnehmern wird aktive Teilnahme und Selbststudium erwartet.
 Wir hoeren Musik und arbeiten mit Videomaterial.
 Landeskundliche Kenntnisse ueber die deutschsprachigen Laender erweitern.
 必ず毎回出席が必要; 期末テストを実施しない
 小テスト、宿題、積極的な参加が必要
 毎回出席したからといって、必ずしも合格できるわけではない

到達目標 / Attainment Objectives

Anwendung und Festigung des bisher Gelernten
 Verbesserung der Kommunikationsfaehigkeit
 教材: Print (学生の興味による)

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

Wiederholung des bereits Gelerntem Stoffes

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語の「聞き取り」に主眼をおいた授業です。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定3級くらいの力をつける(2級が取れば申し分なし)。
 耳の訓練をする。
 ドイツ語の歌が歌えるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。何でもいからドイツ語の歌が好きになって、聞く習慣をつけて下さい。聞き取りの力が飛躍的にアップしますから。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	ZDF(ドイツの放送局で、日本のNHKにあたるもの)のニュースで、分かりやすいものを選んで持ってきます。それで聞き取り練習をしましょう。このニュースは、主音声日本語、副音声ドイツ語です。それを活字に起こしたプリントを配ります。①②の二段構成になっていて、①日本語、②はドイツ語です。例えば2006年11月4日の放送な	
	①子供に対する虐待、これは世界的に問題になっています。	②Gewalt gegen Kinder, das ist ein Weltproblem.
	①ユニセフは初めてその規模の大きさについて、概観を発表しました。	②UNICEF hat jetzt zum erstmaligen einen Ueberblick ueber das ganze Ausmass gegeben.
	…とプリントは続いてゆきます。	
	授業は、発音、文法、翻訳、の3点に注目しつつ進みます。	
	まず授業の初めに、その日に進む分を全て3回ほど再生します。初めは早すぎて聞き取れませんが、何回か授業が進むと慣れてきますから、根気よく聞き続けてください。	
	②	
	そのあと、一文ずつ研究してゆきます。	
	まず発音です。一文ずつ区切って3回ほど聞きます。DVDですから、何度でも繰り返して聞けます。皆さんはそれを聞きつつ、自分の口も動かしながら、心の中で発音して下さい。次に私が発音の注意点なども説明しつつ、ゆっくり発音します。そして皆さんにゆっくり発音してもらい、違っておれば直します。そして納得できれば、もう一度アナウンサーの発音を聞きます。自分で発音できれば、聞き取れるようになることを確認して下さい。	
	次に文法です。その文章を文法的に分析します。二点に注意して下さい。①文章の主語と動詞はどれか、②そして名詞の性・格・数はどうか、です。この二点が分かれば、どんなドイツ語でも読めます。それを考えるのが毎回の宿題です。家で皆さんには、この二点をプリントに書き込んでてもらいます。その結果を持ち回りで提出してもらって、私がそれをプロジェクターに映しつつ、間違いを赤で添削します。皆さんはそれを見つつ、自分がやってきたものを自分で赤で添削して下さい。勉強してくればその分だけ、早く成長します。	
	最後に翻訳。文法の項で理解したものを、日本語に翻訳する練習をしてもらいます。文の意味はプリントに(主音声のアナウンサーのセリフとして)書いてありますから、意味を取るの簡単です。直訳する練習を、皆さんにはしてもらいます。	
	こうして、発音、文法、翻訳の研究が終ると、再度その文について質問がないか尋ねて、次の文章に進んでゆきます。	

そして授業の最後に、その日にやった分すべてを3回ほど聞きなおして終わりです。授業の初めに聞き取れなかった文章が、授業の終わりになると意味も発音も分かるようになるというのは、なかなかの快感ですよ。

昨年半年、この方法でやってみましたが、皆さん楽しく勉強してくれて、思ったより力がつきましたね。今年はさらに、上のレベルを目指しましょう。

それから授業の合間に、ドイツ語の歌も紹介します。Die Prinzenがおすすめです。

ZDFの放送から、面白そうなものをためておいて、それを持ってゆきます。いいのがたまにありますよ。時間がたてばCDのデータが消えるということ、皆さん知っていますか？僕はZDFのニュースでそれを知りました。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	
日常点・その他	30 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教科書は使わず、プリントを配ります。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語上級表現読解II K

12307

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだドイツ語力を高め、ドイツ語のコミュニケーション能力(表現力)を育成していきます。「話す」力はもちろん、「聴く」力、「書く」力、「読む」力を総合的に伸ばすことを目標とします。テキストは、様々な分野からプリントとして用意します。受講者が興味のあるテーマなどは積極的に取り入れたいと思いますので、遠慮なく提案してください。視聴覚教材を適宜に利用し、ドイツ語の総合的レベルアップを目指します。文法の補足も随時行います。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語の力に関しては、筆記、口頭ともに表現力を伸ばすこと。また、ドイツの文化への理解を深める事。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	別途指示する。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	小テスト、出席状況、課題提出、授業への積極的な参加などを総合評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを適宜配布。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://home.comcast.net/%7Edkalischer/WebRadio/DeutscherRundfunk.htm> (ドイツのラジオが聞けます。)
<http://www.n-tv.de/> (ドイツのニュースを生放送で見ることができます。)
<http://www.tagesschau.de/> (ドイツのニュースを録画で見ることができます。)
<http://www.dw-world.de/> (ドイツの様々な情報が得られます。)

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションI K

11055

担当者名 / Instructor CHRIST-KAGOSHIMA G.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

This course is about German everyday life and culture, e.g. fashion, school, jobs. CDs, videos and listening cassettes will be used for listening comprehension, language learning activities for speaking practice

到達目標 / Attainment Objectives

This class focusses on modern spoken and written German in combination with learning about everyday life and culture in Germany. A better command of German, concerning vocabulary, listening comprehension, reading, writing and speaking will be reached by the end of the semester.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	33 %	listening comprehension, writing, speaking
日常点・その他	66 %	tests on listening comprehension, writing; speaking

There will be a short test in the middle and at the end of each lesson in the textbook. If a student is less than 60% present he/she cannot take the final examination. Topic bound homework adds to grading.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Active oral participation is a good preparation for the final test as well as doing homework regularly is for all tests. Asking questions is welcome as a sign of intelligence. It is important to learn the words per lesson with written word lists (German - Japanese - German) and to repeat listening exercises with the textbook CD.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Themen 2 aktuell	Hartmut Aufderstrasse / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-181691-7 / 2300 Yen = incl. CD

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

www.themen-aktuell.de

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションII K

11094

担当者名 / Instructor CHRIST-KAGOSHIMA G.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

This course is about German everyday life and culture, e.g. cars, work, family. CDs, videos and listening cassettes will be used for listening comprehension, language learning activities for speaking practice.

到達目標 / Attainment Objectives

This class focusses on modern spoken and written German, in combination with learning about everyday life and culture in Germany. A better command of German, concerning vocabulary, listening comprehension, reading, writing and speaking will be reached by the end of the semester.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	33 %	listening comprehension, writing, speaking
日常点・その他	66 %	tests on listening comprehension, writing; speaking

There will be a short test in the middle and at the end of each lesson in the textbook. If a student is less than 60% present he/she cannot take the final examination. Topic bound homework adds to grading. It is important to learn the words per lesson with written word lists (German - Japanese - German) and to repeat listening exercises with the textbook CD.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Themen 2 aktuell	Hartmut Aufderstrasse / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-181691-7 / 2300 Yen = incl. CD

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

www.themen-aktuell.de

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解I K

12409

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者)で受講希望者は申し出ること

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①	
3	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②	
4	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③	
5	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④	
6	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤	
7	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥	
8	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦	
9	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧	
10	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨	
11	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩	
12	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪	
13	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫	
14	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬	
15	最終講義試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	30 %	最終講義試験(筆記試験)
日常点・その他	70 %	出席、発表、小テスト等

最終講義試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。
 また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するのがよいでしょう。
 月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
 第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

ドイツ語中級表現読解II K

11641

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現代ドイツ人の思考と生活は日本人的な視点から眺めるとどんな特徴があるのか。そんな切り口で書かれた文章を読むことによってドイツ語の読解力を養い、文法の復習をし、いろんな練習によって表現力を身につけることを目標とした授業です。

受講者全員が到達すべき目安として、実際に受験するしないに関わらず独検3級水準を設定しています。そして、受験のための練習も加味した授業とする予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・ドイツ語文法の知識を確実なものにする
- ・論理展開に必要な言い回しを理解し、使えるようにする
- ・語彙を豊かにする

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

大学入学前に既にドイツ語を一定程度学習したうえで、入学後、前期に週2回か3回既習者用ドイツ語中級表現読解・コミュニケーションを受講した人のための授業であり、ドイツ語の基礎的な力があることを前提とした授業です。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入。受講者の力を知るための小テスト	
2	トイレでノックはするな	
3	ドイツ人と音	
4	ドイツ人はケチ?	
5	ドイツ人のジョーク	
6	割り勘	
7	ドイツ人とサンドイッチ。第1回テスト	
8	ドイツ人の時間感覚	
9	保守と革新	
10	客はどこに座らせる。第2回テスト	
11	遅れてきたとき、どのように着席するのか?	
12	使いやすい表現と使いにくい表現	
13	働いてばかりはいられない。第3回テスト	
14	まとめと復習。最終テスト	
15	試験返却と講評	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

テレビやラジオのドイツ語講座は格好の教材ですから、活用しましょう。また、インターネット上のニュースやトピックス(音声および文字)も利用価値大です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	4回のテストを中心に、出席状況、授業への積極的参加の度合いを加味

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語読みかた教室	大谷弘道・Ursula Otani / 三修社 / 4-384-13068-6 C1084 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
必携 ドイツ文法総まとめ	中島・平尾・朝倉 / 白水社 / 文法のレファレンスに最適

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る	→ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金	→ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報	→Deutsche Welle

ドイツ語中級表現読解Ⅲ K

12487

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①	
2	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②	
3	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③	
4	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④	
5	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤	
6	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥	
7	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦	
8	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧	
9	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨	
10	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩	
11	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪	
12	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫	
13	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬	
14	リスニング⑭、表現⑭、単語テスト⑭、読解⑭	
15	リスニング⑮、表現⑮、単語テスト⑮、読解⑮	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	30 %	最終講義試験
日常点・その他	70 %	出席、発表、小テスト等

最終講義試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／自習用。希望者のみ購入のこと。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。
また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するとよいでしょう。
月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

ドイツ語中級表現読解IV K

10561

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習、語彙力の強化の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	文法の復習(動詞の現在人称変化)、リスニング①	
3	文法の復習(名詞と冠詞)、リスニング②	
4	文法の復習(不規則変化動詞)、リスニング③	
5	文法の復習(命令形)、リスニング④	
6	文法の復習(冠詞類)、リスニング⑤	
7	文法の復習(人称代名詞)、リスニング⑥	
8	文法の復習(前置詞)、リスニング⑦	
9	文法の復習(接続詞)、リスニング⑧	
10	文法の復習(話法の助動詞)、リスニング⑨	
11	文法の復習(分離動詞)、リスニング⑩	
12	文法の復習(再帰代名詞)、リスニング⑪	
13	文法の復習(形容詞)、リスニング⑫	
14	文法の復習(動詞の3基本形と過去)、リスニング⑬	
15	最終講義試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	60 %	最終講義試験(筆記試験)
日常点・その他	40 %	出席、発表、小テスト等

最終講義試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解V」(後期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解I」(前期)「ドイツ語中級表現読解III」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラ

スでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

ドイツ語中級表現読解V K

10583

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指して基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文法(未来形)、リスニング①	
2	文法(完了形)、リスニング②	
3	文法(関係代名詞①)、リスニング③	
4	文法(関係代名詞②)、リスニング④	
5	文法(受動)、リスニング⑤	
6	文法(zu不定詞)、リスニング⑥	
7	文法(分詞)、リスニング⑦	
8	文法(接続法①)、リスニング⑧	
9	文法(接続法②)、リスニング⑨	
10	文法(指示代名詞など)、リスニング⑩	
11	文法(総合問題①)、リスニング⑪	
12	文法(総合問題②)、リスニング⑫	
13	文法(総合問題③)、リスニング⑬	
14	文法(総合問題④)、リスニング⑭	
15	最終講義試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	60 %	最終講義試験(筆記試験)
日常点・その他	40 %	出席、発表、小テスト等

最終試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)

を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

フランス語上級コミュニケーションI K

10986

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

新聞記事(時事問題)の理解とディスカッション力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

新聞記事(時事問題)の理解とディスカッション力を養う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	学生の自己紹介をします。自分の興味、好きなことなどを話してもらいます。また、この学期の紹介をします。	自己紹介
2	フランスの記事を読み、理解する。	フランスのニュース1
3	2の続きをします。	フランスのニュース1
4	学習した記事についてグループディスカッションをします。	フランスのニュース1
5	フランスの記事を読み、理解する。	フランスのニュース2
6	5の続きをします。	フランスのニュース2
7	学習した記事についてグループディスカッションをします。	フランスのニュース2
8	フランスの記事を読み、理解する。	フランスのニュース3
9	8の続きをします。	フランスのニュース3
10	学習した記事についてグループディスカッションをします。	フランスのニュース3
11	グループに分かれて、日本のニュースを選ぶ(時事ニュース)。グループで資料のまとめ方等を計画する。	グループ、日本のニュース
12	選んだニュースについて資料を集め、フランス語でまとめる。	グループ、日本のニュース
13	12の続き、まとめ。	グループ、日本のニュースのまとめ
14	発表の練習	発表の練習
15	グループ発表	発表

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	出席、授業への積極参加、授業中の小テスト、発表、グループディスカッション

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストは使用しませんが、選んだテーマについて適当な材料(新聞記事、CD、ビデオカセット)を準備します。

参考書 / Reference Books

テキストは使用しません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語上級表現読解I K

11484

担当者名 / Instructor 野崎 次郎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語で書かれた文章を辞書を引きながら独力で読めるようにする。長文に慣れるためには、人の訳を覚えても仕方ない。まず自分で訳してみる必要がある。授業ではあなた自身に訳してもらってから、補足説明にはいる。補足説明のなかで、初級、中級段階でやり残したこと、曖昧なままにしておいたことなどをはっきり理解できるようにしたい。テキストは、フランスの文化や社会をテーマにしたものであり、フランス事情もあわせて知ることができるだろう。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語中級から上級へ。仏検の三級から二級程度。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級関連科目。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1. 第二のルーブル 2. 人質の解放	
2	3. 万博 4. 法皇の死	
3	5. てんやわんやの月曜日 6. 冬時間と夏時間	
4	7. シラク大統領 8. 氷のギャラリー	
5	9. アカデミー・フランセーズ 10. フランスのスポーツ	
6	11. 捕鯨問題 12. 忙しい高校生	
7	13. 共和制とマリアヌヌ 14. 漫画ブーム	
8	15. ヨーロッパに未来はあるか 16. モナリザ	
9	17. メディア 18. フランス国歌(ラ・マルセイエーズ)	
10	19. 人種差別の終わり? 20. 太陽エネルギー	
11	インターネットで読むフランス語 (1)	
12	インターネットで読むフランス語 (2)	
13	インターネットで読むフランス語 (3)	
14	インターネットで読むフランス語 (4)	
15	最終講義日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

必ず毎授業ごとに一時間程度の予習・復習をすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	100 %	最終講義日試験、授業中の発表、出席点などの合計

三分の一以上の欠席で自動的にアウトです。休まずに出席してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
やさしく読めるフランス語新聞2006	瀧川ほか / 第三書房 / 4-8086-2676-4 /

後半三分の一程度の授業では、インターネット上の新聞記事を読む。

参考書 / Reference Books

授業中、適宜紹介する。
仏和辞典を必ず持参してください。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

野崎次郎のホームページ
<http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/jiro/>
 野崎次郎のポケ作日記
<http://blog.livedoor.jp/jnv20518/>

その他 / Others

フランス語上級表現読解II K

12320

担当者名 / Instructor 角谷 美知

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

CD付教科書と適宜プリント教材を使用します。フランス語の文法体系を整理し、フランスの社会文化を知り、平易な講読、簡単な作文、聞き取りを総合的に学ぶことを目標とします。そしてフランス語検定試験も積極的に受験してほしい。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の文法体系を整理し、日常会話に慣れ、平易な講読、簡単な作文、聞き取りを総合的に学ぶことを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンス	
第2回	lecon1 TGVがフランスの地図を変える	
第3回	"	
第4回	lecon2 再び結婚の時代へ	
第5回	"	
第6回	lecon3 生命への挑戦	
第7回	"	
第8回	lecon4 新しい入試制度	
第9回	"	
第10回	lecon5 フランスのイスラム教徒	
第11回	"	
第12回	lecon6 フランスの言語事情	
第13回	"	
第14回	lecon7 新・パリと地方・総復習	
第15回	最終講義日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

授業内で適宜指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	
日常点・その他	30 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

基本的な文法知識、積極的な授業参加が必要です。
毎時間辞書を持参してください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
変わるフランス	饗庭千代子・平井知香子著／早美出版社／4915471896／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションI K

11059

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

高校で学んだフランス語の応用力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教科書の紹介をします。学生の自己紹介、出席表を作成します。P.19の復習、P.20-21のL.1。	
2	L.2,P22-23, L.3, P24-25。	
3	L.4, P.26-27。	
4	L.5, P.28-29。	
5	L.6, P30-31。	
6	L.7, P.32-33, リスニングP.34。	
7	リスニングP.35、会話のミニテスト。	
8	L.9, P.36-37, L.10, P.38-39。	
9	L.11, P.40-41, L.12, P.42-43。	
10	L.13, P.44-45, L.14, P.46-47。	
11	リスニングP.48-49, 会話のミニテスト。	
12	L.16, P.50-51, L.17, P.52-53。	
13	L.18, P.54-55, リスニングP.56。	
14	リスニングP.57, L.21P.60-61。	
15	学期の復習, 会話のミニテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	
日常点・その他	50 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe, Ver.2004, Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションII K

11103

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の続きをします。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の復習, L.22, P.62-63	
2	L.23, P.64-65, L.24., P.66-67	
3	week-end, repos, vacances(リスニング), P.68-69, 会話のミニテスト	
4	L.26, P.70-71, L.27., P.72-73	
5	L.28, P.74-75, L.29., P.76-77	
6	L.30, P.78-79, リスニングP.80	
7	activites, loisirs, リスニングP.81, 会話のミニテスト	
8	L.32, P.82-83, L.33, P.84-85	
9	etudes, L.34, P.86-87, L.35, リスニングP.88	
10	リスニング P.89, 会話のミニテスト	
11	L.36, P.90-91, L.37, P.92-93	
12	L.38, P.94-95, L.39, P.96-97	
13	cadre de vie, リスニングP.98-99, 会話のミニテスト	
14	L.41, P.100-101, L.42, P.102-103	
15	L.43, P.104-105, リスニングP.106	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe, Ver.2004, Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解I K

12434

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

既習者対応科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級を完全射程に入れる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回～第13回	配布プリントを活用して、初級フランス語レベルをクリアーし、中級フランス語レベルへと学力向上を図る。	
第14回	最終講義試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	
日常点・その他	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント教材を配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解II K

11655

担当者名 / Instructor 角谷 美知

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の基礎学力を既に身につけている既習者に、その知識を生かした読解力を身につけてもらうことを目標とします。そのためにこれまで学習した文法事項を整理しつつ、易しいフランス語を読み、文法問題を解いて、広範囲の分野の長文読解力をつけていただきます。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の基礎学力を既に身につけている既習者に、その知識を生かした読解力を身につけてもらうことを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

基礎的な文法知識を身につけておくために、前期の「フランス語中級表現読解 I K」を履修しておくことが望ましいのですが、受講の前提条件というわけではありません。「フランス語中級表現読解 I K」を履修しなかった方にも、授業内容が理解できるように配慮します。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目の授業、前期の進捗を考慮して指示しますので ガイダンスには必ず出席して下さい。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	最終講義日試験を実施
日常点・その他	30 %	

普段の授業態度と最終講義日試験をもとに評価します。出席と予習:授業中の発表を重視しますので、積極的に授業に参加して下さい。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業には必ず辞書を持参して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アミカルマン-フランス語・フランス文化への誘い -(改訂版)	澤田直之、リリアンヌ・ラタンジオ、黒川学著 / 駿河台出版社 / 4411010909 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解III K

12506

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

初級文法を終えた学生を対象に、長文読解に慣れることを目指すクラスである。
 題材としては、身近なことをフランス語で表現したものと、フランスの時事問題をフランス語で書いたものを使う(プリントはこちらで用意する)。
 各自が担当部分の文法的解説・日本語訳の発表を行なう(全体の人数によって変わるが、期間内に2回程度)。

到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級から2級のあいだのレベルの長文読解に慣れることを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解 I K→必須ではないが、履修が望ましいと考えている。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンス、担当振り分け、フランス語の綴り字と発音の関係	
第2～15回	発表と小テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

担当分をきちんと調べておくことは言うまでもないが、担当外の仏文にも毎回目を通しておくことが読解力をつけるためには必要なことである。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	2回の発表(50%)と毎回の小テスト(50%)で判定する。

期間中に一人2回の発表を予定しているが、受講人数に応じて変わる。小テストの回数も同様。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを用意しますので、テキストの購入は必要ありません。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解IV K

10664

担当者名 / Instructor CORBEIL STEVE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の小テキスト(新聞記事、雑誌、広告、など)に基づいて今まで学んだ文法を復習しながら、よく使われる表現やことわざを勉強し語彙を豊かにする。フランス語の新聞記事や小テキストの文構造を分析し、キーワードを使って速読する。その上で、理解したことを発表したり要約して伝えることが出来るようになる。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	フランスの習慣について読む	
2回目	フランスの習慣について読む	
3回目	フランスの美術館について読む	
4回目	新聞記事を読む	
5回目	新聞記事を読む	
6回目	新聞記事を読む	
7回目	シャンソンについて読む	
8回目	シャンソンについて読む	
9回目	広告を読む	
10回目	広告を読む	
11回目	異文化について読む	
12回目	異文化について読む	
13回目	フランスの有名人について読む	
14回目	文学を読む	
15回目	口頭試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	20 %	口頭試験
日常点・その他	80 %	出席と小テスト

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

* 仏和辞典が必要。

教科書 / Textbooks

* プリント配布。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解V K

10677

担当者名 / Instructor CORBEIL STEVE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の小テキスト(新聞記事、雑誌、広告、など)に基づいて今まで学んだ文法を復習しながら、よく使われる表現やことわざを勉強し語彙を豊かにする。フランス語の新聞記事や小テキストの文構造を分析し、キーワードを使って速読する。その上で、理解したことを発表したり要約して伝えることが出来るようになる。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	20 %	口頭試験
日常点・その他	80 %	出席と小テスト

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

* 仏和辞典が必要。

教科書 / Textbooks

* プリント配布。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 胡 玉華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

高校で学んだ基本的な単語や表現を復習しながら、新しい表現を徐々に加え、耳・口を使って繰り返し練習することによって、無理なく着実に中国語の会話力を高めていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

学習を通して、身近な生活・関心のある話題について中国語で表現できるように目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	①授業の展開と規則を説明する。②簡単な会話をを行い、受講者のレベルを調べる。	「自己紹介」の準備
2	「自己紹介」の発表	「家族紹介」の準備
3	「家族紹介」の発表	「故郷の紹介」の準備
4	「故郷の紹介」の発表	「私の大学」の準備
5	「私の大学」の発表	「私の一日」の準備
6	「私の一日」の発表	「私の趣味」の準備
7	「私の趣味」の発表	中間復習
8	中間テスト	「大学生のアルバイトについて」の準備
9	「大学生のアルバイトについて」の発表	「生活習慣について」の準備
10	「生活習慣について」の発表	「携帯電話について」の準備
11	「携帯電話について」の発表	「インターネットについて」の準備
12	「インターネットについて」の発表	「旅行ブームについて」の準備
13	「旅行ブームについて」の発表	「私の夢」の準備
14	「私の夢」の発表	期末復習
15	期末試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

授業前の予習(発表の準備)と授業後の復習を必ず行って下さい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	
日常点・その他	50 %	出席状況・発表のできばえ・授業中の積極性・中間テストの成績

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

楽しい授業を目指すために、授業中の積極性を高く評価します。

教科書 / Textbooks

プリントを随時配布します。

参考書 / Reference Books

義務ではありませんが、一回目の授業の時に、高校で使っていた教科書を持って来てください。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**その他 / Others**

中国語上級表現読解I K

11478

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、『青島早報』(朝刊紙)の紙面から、中国の市民生活を反映した「法律、経済、社会、教育、芸能」に関する記事と、読者から寄せられたエッセーなどを教材に、本物の中国語を体験していく。

到達目標 / Attainment Objectives

「中国語検定試験3級」以上のレベルを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

上級の授業であり、すでに基礎をしっかりと勉強し、中国語の発音が正しくできる人が受講して欲しい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回の授業時に詳しく説明する。なお、第1回の授業時に、	テキストp7-p9、p11-p12の本文を「邦訳」しておくこと。
	なお2、「邦訳」してこなかった人は罰ゲームをしてもらいます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

「予習&復習」を欠かさずに行うこと。また、語彙の「整理、暗記」をマメにすること

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	40 %	①ヒアリングによる書き取り ②発音試験
日常点・その他	60 %	授業態度、出席状況、宿題提出

1日1時間！ 語学にかけよう。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
青島の朝	佐藤富士雄ほか / 白帝社 / ISBN4-89174-707-2 /

参考書 / Reference Books

参考書などは、第1回目の授業時に詳しく紹介する。
辞書は必ず必要。持っていない場合は、1回目の授業の説明を聞いてから購入してください。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会 <http://www.chuken.gr.jp/>
立命館孔子学院 <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/>

その他 / Others

第1回目の授業で詳しく授業の進め方や評価の基準などを説明するので、必ず出席してください。

中国語上級表現読解II K

12308

担当者名 / Instructor 張 恒悦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国現代社会について、さまざまな角度から読んでいく。主に読解力の向上を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

辞書を使って、比較的複雑な文章を読むような読解力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション	
2	中国の概況	
3	文字の話	
4	姓名の話	
5	親族呼称	
6	日常生活	
7	挨拶のいろいろ	
8	復習	
9	人情について	
10	思考方法	
11	家庭教育	
12	恋愛結婚	
13	タバコ、酒、お茶	
14	復習	
15	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

主体性ある取り組みを求める。予習、復習は必ずするようにしましょう。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

5回以上欠席すると評価対象外となる。出欠、授業態度、試験で評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新中国事情	李鴻谷 / 好文出版 / 4-87220-035-7 /
中日辞書を各自持参すること	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションI K

11056

担当者名 / Instructor 黄麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

初級で習得した中国語の基礎を土台に、中国語コミュニケーションのレベルをさらにステップアップさせることを目指します。初歩的な知識が不十分な学生も心配りません。すでに初級で学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを少しずつ学んでいきます。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な表現および初級から中級にかけての日常会話に挑戦できることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業案内	発音のポイント練習 基礎表現の復習
2	《北京に到着》	動詞句の主語 数詞+“多” 実践会話の練習
3	《道を尋ねる》	“就～了” 反復疑問文 実践会話の練習
4	《買い物》	動詞1+“了”(目的語)+動詞2 比較の表現 実践会話の練習
5	《バスに乗る》	名詞修飾語 結果補語 実践会話の練習
6	《新しい友たち》	様態補語 2つの“了” 実践会話の練習
7	《外食》	経験を表す表現 人を招待する表現 実践会話の練習
8	《約束》	“可～了” 助動詞“打算” 実践会話の練習
9	《友達に電話をする》	方向補語 使役文 実践会話の練習
10	《郵便局》	前置詞“把” 方向補語 実践会話の練習
11	《医者に行く》	“一～就…” 助動詞“要” 実践会話の練習
12	《家庭訪問》	助動詞“用” 進行形 実践会話の練習
13	《謝恩会》	可能補語 変化を表す“了” 実践会話の練習
14	表現の総復習	実践会話の総復習
15	期末試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	40 %	最終講義日の学期末試験
日常点・その他	60 %	日常点(受講態度・小テストなど):30% その他(出席状況):30%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

テキストに備えられたCDを繰り返し聞くように心掛けましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
2年生のコミュニケーション中国語	劉 穎 / 白水社 / 4-560-06911-5 /

参考書 / Reference Books

参考書は必要に応じて指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションII K

11095

担当者名 / Instructor 黄麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

初級で習得した中国語の基礎を土台に、中国語コミュニケーションのレベルをさらにステップアップさせることを目指します。初歩的な知識が不十分な学生も心配ありません。すでに初級で学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを少しずつ学んでいきます。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な表現および初級から中級にかけての会話に挑戦することを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の総復習	発音練習 基礎表現の練習
2	《約束》	「聞かるところによると」の表現 “可～了”
3	助動詞“打算”	実践会話の練習
4	《友たちに電話をする》	方向補語
5	使役文 兼語	実践会話の練習
6	《郵便局》	「もし～ならば」の表現 前置詞“把”
7	方向補語“到” 結果補語“到”	実践会話の練習
8	復習	小テスト
9	《医者に行く》	「すこし、ちょっと」の表現
10	“一～就…” 助動詞“要”	実践会話の練習
11	《家庭訪問》	助動詞“用”
12	進行形 “就是”の使い方	実践会話の練習
13	《謝恩会》	“就要～了” 変化を表す“了”
14	可能補語 “有的”の使い方	実践会話の練習
15	総復習	期末試験

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	40 %	最終講義日の期末試験
日常点・その他	60 %	日常点(受講態度・小テスト):30% その他(出席状況):30%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

テキストに備えられたCDを繰り返し聞くように心掛けましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
2年生のコミュニケーション中国語	劉 穎 / 白水社 / 4-560-06911-5 /

参考書 / Reference Books

参考書は必要に応じて指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解I K

12410

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも使い、ヒアリング力を育てる。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。自宅学習用として文法書をサブテキストとし、毎回小テストを行う。中国語学習を通して、中国事情の理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけて欲しい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンス(授業プリント配布・授業内容説明等)	
第2回～4回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第5回～8回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第9回～13回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第14回	漢詩または歌の暗誦テスト	
第15回	筆記試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

サブテキストは授業では使用しない。各自、自宅で学習すること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	60 %	筆記テスト
日常点・その他	40 %	毎回の小テストの平均(20点)・漢詩または歌の暗誦(20点)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受けたい学生は、練習問題等を提出すれば個人的に添削に応じるので、各学生は主体的に学習に取り組んで欲しい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等/同学社//サブ・テキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語はじめの一歩	木村英樹/ちくま書房//
はじめての中国語	相原茂/講談社新書//
中国語の学び方	相原茂/東方書店//

上記参考書のどれかを(図書館等を利用し)読んで、中国語の全体像をつかんでおいてほしい。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解II K

11642

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国2006年の一年間の出来事をさまざまな角度から読んでいく。主に読解力の向上を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

辞書を使って、中国語の新聞記事をらくらく読めるような読解力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

初級中国語を終えた学生を対象とし、主体性ある取り組みを求める。予習、復習は必ずするようにしましょう。毎回発表あります。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	海拔世界一の青蔵鉄道	
2	主張する前衛芸術	
3	文革40年後の傷跡	
4	マイクロソフト イン 中国	
5	中国大学は今	
6	発表会	
7	大都市こぼれ話	
8	中国の日本人ブログ拝見	
9	オリンピックにマナーが間に合うか？	
10	世界遺産への苦悩	
11	国花は牡丹か梅か	
12	発表会	
13	総まとめ	
14	最終講義日テスト	
15		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

発表の準備を怠ることなく頑張ってください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

出席重視クラスなので、5回以上欠席すると評価対象外となる。日常点は、出席、発表、最終講義日テストなどからなる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
セレクト10時事中国語2007	三浦正道など／朝日出版社／4-255-45144-2／
中日辞書を各自持参すること	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解III K

12488

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも使用しヒアリング力を育てる。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。サブテキストの文法書は自宅学習用として、その確認のため毎回小テストを行う。中国語学習を通して、中国事情の理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけて欲しい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンス	
第2回～5回	ビデオ鑑賞と講読	
第6回～9回	ビデオ鑑賞と講読	
第10回～13回	ビデオ鑑賞と講読	
第14回	漢詩または歌の暗誦テスト	
第15回	筆記試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

文法書をサブ・テキストとし、自宅学習用とする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	60 %	筆記テスト
日常点・その他	40 %	小テスト平均(20点)・漢詩または歌の暗誦(20点)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受験する学生は、練習問題を提出すれば添削に応じる。各自、積極的に勉強に取り組んで欲しい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等 / 同学社 / サブ・テキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語はじめの一歩	木村英樹 / ちくま書房 / /
初めての中国語	相原茂 / 講談社新書 / /
中国語の学び方	相原茂 / 東方書店 / /

開講までに上記のどれかを読んで中国語の全体像をつかんでおいてほしい。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor 永井 英美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

- ◎何のために中国語を勉強するのか——もちろん中国語を話し、使うためです。この授業は話すことと聞き取ること、つまり発音・暗唱・ヒアリングに重点を置いて進めます。
- ◎繰り返し読むことによって発音を安定させます。
- ◎文法も重視し、基礎的な力を固めます。
- ◎中国の音楽なども聴き、中国の文化、習慣、歴史などへの知識と興味を深め、視野を広げます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国語を聞いて話せる力を向上させる。
- ◎発音と文法の基礎を固める。
- ◎中国の文化、習慣、歴史、芸術などへの知識と興味を深め、視野を広げる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

- ◎この授業は中級です。すでに基礎を勉強し、中国語の発音記号が正しく読める人が受講してください。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	授業の進め方、評価の基準などについて説明。第1課の単語、文法「主題化」「只有～才～」「可～了」「ていねいな依頼」。第1課本文「北京のノミの市」の訳。	
	第1課本文の読み、第1課補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第1課本文の聞き取り練習。第2課の単語、文法「頻度の言い方」「疑問詞+都」「因為～所以～」「如果～就～」「哪怕～也～」。第2課本文「骨董市場の見学」訳	
	第1課本文の暗唱。第2課本文の読み。	
	第2課本文の聞き取り練習。第2課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第2課本文の暗唱。第3課の単語、文法「就の用法」「既然～就～」「～不起」「対～感興起」。第3課本文「値切り方」の訳。	
	第3課本文の聞き取り。第3課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第3課本文の暗唱。第4課の単語。	
	第4課の文法「原来～」「的の用法」「する、を表わす動詞」「還是の用法」。第4課本文「値段交渉」の訳。	
	第4課本文の読み。第4課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第4課本文の聞き取り練習。第6課の単語。	
	第4課本文の暗唱。第6課の文法「雖然～但是～」「見解を表わす動詞」「程度の細かな言い分け方」。第6課の本文「ファッション雑誌」訳と読み。	
	第6課本文の聞き取り練習。第6課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第6課本文の暗唱。試験についての説明、発音試験の勉強の仕方と注意点。	
	発音試験。筆記試験の勉強の仕方と注意点。	
	筆記試験。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	最終講義試験(発音試験と筆記試験)
日常点・その他	30 %	出席状況、宿題、授業態度ほか

◎外国語を身につけるためには授業中の勉強だけでは足りません。この授業では、力をつけるために毎回本文の訳や読み、ヒアリングや暗

唱の練習など約40分くらいの宿題があります。◎試験は授業と宿題で学習した部分から出題します。普段の授業と宿題の勉強が何よりも大切です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ◎新聞、テレビなどでも中国のニュース、情報に注目して、常に興味をもっておいてください。
- ◎テレビ・ラジオの中国語講座を視聴する、中国語検定に挑戦するなどして、授業以外でも力をつけてゆきましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「話す中国語」北京篇3	董燕、遠藤光暁 / 朝日出版社 / ISBN4-255-45073-0C1087 /

◎教科書は必ず自分で購入したものを使用してください。コピーや人から譲られたものは不可。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中日辞典	依藤 醇・小川文昭・三宅登之ほか / 小学館 /

もしくは上と同レベル(七千円くらい)の中日辞典。(辞書は必ず必要です。持っていない場合は、1回目の授業の説明を聞いてから、購入してください。)

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

- ◎会話力、ヒアリング力をつけたい人が受講して下さい。
- ◎特別な理由のない限り、毎回出席をめざしましょう。
- ◎意欲のある人を歓迎します。単位さえあればよい、という人には向きません。
- ◎発音も大変重視します。発音の基礎ができていない人が受講して下さい。
- <大切な注意>
- ◎授業中携帯等は必ず電源を切って鞆の中にしまってください。時計が必要な場合は腕時計を使用してください。
- ◎第1回目の授業で更に詳しく授業の進め方や評価の基準などを説明するので、必ず出席してください。

担当者名 / Instructor 菅谷 音

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

- ◎何のために中国語を勉強するのか——もちろん中国語を話し、使うためです。この授業は話すことと聞き取ること、つまり発音・暗唱・ヒアリングに重点を置いて進めます。
- ◎繰り返し読むことによって発音を安定させます。
- ◎文法も重視し、基礎的な力を固めます。
- ◎中国の音楽なども聴き、中国の文化、習慣、歴史などへの知識と興味を深め、視野を広げます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国語を聞いて話せる力を向上させる。
- ◎発音と文法の基礎を固め、上級に進めるだけの力をつける。
- ◎中国の文化、習慣、歴史、芸術などへの知識と興味を深め、視野を広げる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

- ◎この授業は中級の授業です。すでに基礎を勉強し、中国語の発音記号が正しく読める人が受講してください。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	後期の授業の進め方、評価の基準などについて説明。第7課の単語、文法「就と才」「部分否定」「～來說」。第7課本文「ビデオ閲覧室」の訳。	
	第7課本文の読み。第7課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第7課本文の聞き取り練習。第8課の単語、文法「助動詞 敢」「只要～就～」「不管～都」「或者」。第8課本文「インターネット」の訳。	
	第7課本文の暗唱。第8課本文の読み。	
	第8課本文の聞き取り練習。第8課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第8課本文の暗唱。第9課の単語、文法「難道～」「連～都～」「顯得」「不定を表わす疑問詞」。第9課本文「化粧」の訳	
	第9課本文の聞き取り練習。第9課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第9課本文の暗唱。第11課の単語。	
	第11課の文法「助動詞 得」「～的話～就～(了)」、第11課本文「電話」の訳。	
	第11課本文の読み。第11課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第11課本文の聞き取り練習。第12課の単語。	
	第11課本文の暗唱。第12課の文法「越～越～」「容易～」「～起来」「又～又～」、第12課の本文「おしゃべり」訳と読み	
	第12課本文の聞き取り練習、第12課の補充単語、言い換え練習、応用会話。	
	第12課本文の暗唱。試験についての説明、発音試験の勉強の仕方と注意点。	
	発音試験。筆記試験の勉強の仕方と注意点。	
	筆記試験。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	最終講義試験(発音試験と筆記試験)

日常点・その他 30% 出席状況、宿題、授業態度ほか

- ◎外国語を身につけるためには授業中の勉強だけでは足りません。この授業では、力をつけるために毎回本文の訳や読み、ヒアリングや暗唱練習など約40分くらいの宿題があります。
- ◎試験は授業と宿題で学習した部分から出題します。普段の授業と宿題の勉強が何よりも大切です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ◎新聞、テレビなどでも中国のニュース、情報に注目して、常に関心をもっておいてください。
- ◎テレビ・ラジオの中国語講座を視聴する、中国語検定に挑戦するなどして、授業以外でも力をつけてゆきましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「話す中国語」北京篇3	董燕、遠藤光暁 / 朝日出版社 / ISBN4-255-45073-0 C1087 /

- ◎教科書は必ず自分で購入したものを使用してください。コピーや人から譲られたものは不可。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中日辞典	依藤 醇・小川文昭・三宅登之ほか / 小学館 / /

- もしくは上と同レベル(七千円くらい)の中日辞典。(辞書は必ず必要です。持っていない場合は、1回目の授業の説明を聞いてから、購入してください。)

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会 <http://www.chuken.gr.jp/>
立命館孔子学院 <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/>

その他 / Others

- ◎会話力、ヒアリング力をつけたい人が受講して下さい。
- ◎特別な理由のない限り、毎回出席をめざしましょう。
- ◎意欲のある人を歓迎します。単位さえあればよい、という人には向きません。
- ◎発音も大変重視します。発音の基礎ができていない人が受講して下さい。
- <大切な注意>
- ◎授業中携帯等は必ず電源を切って鞆の中にしまってください。時計が必要な場合は腕時計を使用してください。
- ◎第1回目の授業で更に詳しく授業の進め方や評価の基準などを説明するので、必ず出席してください。

スペイン語特別講義 A

11148

担当者名 / Instructor ESCANDON ARTURO

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーション講座。スペイン語会話で文法を学ぶ。
この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

目標言語でコミュニケーションすることが可能であるために包括的なアプローチが、聞いて、話をして、読んで、そして書くことを伴って、使われます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
① 4月9日	Presentacion y objetivos. Presentacion del profesor y de los estudiantes. Saludos. Paises y nacionalidades.	
② 4月23日	Ayudas. Numeros 0-20. Profesiones. Lugares de trabajo.	
③ 5月7日	La direccion, el telefono. Numeros 21-100	
④ 5月21日	La familia. El estado civil. La edad.	
⑤ 6月4日	Descripcion fisica de personas. Colores. El caracter.	
⑥ 6月18日	Objetos. Numeros 101-10.000.El pueblo o la ciudad. Situacion geografica.	
⑦ 7月2日	La hora. Dias de la semana. Horarios publicos. Deportes y actividades de tiempo libre (1).	
⑧ 7月16日	Evaluacion final del curso.	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

評価基準は日常点です。それで、毎月に小テストがあります。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Nuevo ELE Inicial 1 Libro del Alumno	Virgilio Borobio / European Schoolbooks Ltd / ISBN-13: 978-8467509427 /
http://www.amazon.co.jp/Nuevo-Ele-Inicial-Libro-Alumno/dp/8467509422/sr=1-3/qid=1169350808/ref=sr_1_3/249-8692890-6560333?ie=UTF8&s=english-books (後期も教科書を継続使用)	

参考書 / Reference Books

電子辞書をつかうのが便利です。 <http://casio.jp/exword/products/XD-ST7500/>
 日常辞書は 宮城昇、山田善郎 『現代スペイン語辞典 改訂版』 白水社

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://nakamachi.com/escandon/>

その他 / Others

スペイン語特別講義 B

11165

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Este curso servira para dar una oportunidad a aquellos alumnos que no pudieron alcanzar el dominio basico del espanol requerido para obtener creditos.

この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

Asegurarse de que los estudiantes adquieren el dominio basico del espanol requerido para obtener creditos.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

Los alumnos deberan estudiar por su cuenta, en casa, para reconocer los puntos en los que requieren una ayuda especial por parte del instructor.

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	El alfabeto	
	Como te llamas	
	Como se escribe	
	De donde eres	
	Estudias o trabajas	
	Donde vives	
	Usted o tu	
	La familia	
	Como es el	
	Algunas cosas	
	Asi es mi ciudad	
	Asi es mi casa	
	?Sabes donde esta?	
	Repaso	
	Examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	80 %	
日常点・その他	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語特別講義 A

11151

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業ではテキストに沿って基本から復習し、中国語の基礎的な力をつけます。
 隔週開講で毎回試験を実施し、前回習ったことを着実に身につけてから次に進みます。
 前期末には、前期に学んだ中国語は、すべて聴き取れて書き取れ、そして話せることが目標です。毎回の講義及び試験もそれを目指しています。
 この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 基本的な中国語の発音を身につけ、発音記号が読めるようになる。
2. 基本的な文法と文型を学び、学んだ範囲の重要事項を応用して、聞いて話すことができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
4/10	発音復習	発音の基礎を確認し、確実にみにつける
4/24	発音復習	同上
5/8	テキストを文法→本文→応用の順で勉強する	
5/22	同上	
6/5	同上	
6/19	同上	
7/3	会話試験	
7/17	最終講義試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

- 辞書を購入し、初出の単語は調べてくる。
- 既習の内容を重要な文型を中心に復習し、聞いて話せるようにする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	30 %	
日常点・その他	70 %	

- ①隔週講義の際、毎回実施される試験の成績の合計 ②出席状況と授業態度及び宿題への取り組み ③最終講義試験

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- 最初の授業で、授業進行、評価、参考書について話をします。どれも単位取得に必須の情報です。絶対に休まないでください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
北京上海リスニング・ツアー	相原茂 / 朝日出版社 / 4-255-45030-7 C1087 /

教科書は必ず購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語特別講義 B

11168

担当者名 / Instructor 鷺尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業ではテキストに沿って基本から復習し、中国語の基礎的な力をつけます。
 隔週開講で毎回試験を実施し、前回習ったことを着実に身につけてから次に進みます。
 後期末には、前期に学んだ中国語は、すべて聴き取れて書き取れ、そして話せることが目標です。毎回の講義及び試験もそれを目指しています。
 この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

1. 基本的な中国語の発音を身につけ、発音記号が読めるようになる。
2. 基本的な文法と文型を学び、学んだ範囲の重要事項を応用して、聞いて話すことができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
10/2	発音復習	発音の基礎を確認し、確実に身につける
10/16	発音復習	発音の基礎を確認し、着実に身につける
10/30	テキストを文法⇒本文⇒応用の順で勉強する	
11/13	同上	
11/27	同上	
12/11	同上	
12/25	会話試験	
1/15	最終講義試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

予習 初出単語を調べ、自分で本文を読んでみる。
 復習 重要文型を中心に読み、聞きの練習をし、話せるようにする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	30 %	
日常点・その他	70 %	

授業中の小テストと最終講義試験によって評価します。日々の積み重ねが大事。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
話す中国語・スリム版	董燕・遠藤光暁 / 朝日出版社 / /

必ず購入すること

参考書 / Reference Books

初回授業で説明・指示します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語特別講義 A

11152

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶言葉、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようになる。ハングル検定、4級の合格を目指す。

授業ごとに課題を与え、講義は隔週(8回)、講義日に小テストを行う。

この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

該当者のみ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音(母音)	
2	文字と発音(子音・パッチム)	
3	発音の変化	
4	指定詞・存在詞を使った平叙文・否定文	
5	丁寧形	
6	疑問詞と数詞	
7	用言の否定形	
8	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義試験をふくむ
* 日常点評価 成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

油谷幸利他『朝鮮語辞典』(小学館)

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語特別講義 B

11169

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶言葉、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようになる。ハングル検定、5級の合格を目指す。授業ごとに課題を与え、講義は隔週(8回)、講義日に小テストを行う。
この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

該当者のみ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音(母音)	
2	文字と発音(子音、パッチム)	
3	発音の変化	
4	指定詞と存在詞を使った平叙文・否定文	
5	丁寧形	
6	疑問詞と数字	
7	用言の否定形	
8	試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	最終講義試験をふくむ
* 日常点評価 成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

油谷幸利他『朝鮮語辞典』(小学館)

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語特別講義 A

10575

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語検定4級程度の力がつくことが目標です。
 毎回小テストを行います。
 授業日は隔週(つまり2週に一度)ですので、間違えないようにして下さい。
 最初の授業で、授業の日がいつになるか説明します。
 この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語の基礎の力をつける。
 (授業の間に休憩を取り、ドイツのニュース(ZDF)を見、ドイツの歌なども紹介します。どうか興味を持ってドイツ語と接してください。)

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1・2章	
	3・4章	
	5・6章	
	7・8章	
	9・10章	
	11・12章	
	13・14章	
	最終講義試験	
	授業の方法。毎回二章ずつ進みます。最初に、前回の授業の内容の小テスト。そして授業です。授業の前半で、一章を終えます。授業時間の半ばに休憩をとってZDFを見、ドイツの歌を聴こうと思います。授業の後半で、もう一章を終えます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	40 %	
日常点・その他	60 %	毎回時間のはじめに行う小試験が10点。6回で60点です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

映画、音楽、スポーツなど、ドイツに関係のあるもので、自分の興味のあるものを見つけてください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「メモ式ドイツ語早わかり」	在間進 / 三修社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語特別講義 B

10598

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語検定4級程度の力がつくことが目標です。
 毎回小テストを行います。
 授業日は隔週(つまり2週に一度)ですので、間違えないようにして下さい。
 最初の授業で、授業の日がいつになるか説明します。
 この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語の基礎の力をつける。
 (授業の間に休憩を取り、ドイツのニュース(ZDF)を見、ドイツの歌なども紹介します。どうか興味を持ってドイツ語と接してください。)

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1・2章	
2	3・4章	
3	5・6章	
4	7・8章	
5	9・10章	
6	11・12章	
7	13・14章	
8	最終講義試験	
授業の進め方	毎回二章ずつ進みます。最初に、前回の授業の内容の小テスト。そして授業です。授業の前半で、一章を終えます。授業時間の半ばに休憩をとってZDFを見、ドイツの歌を聴こうと思います。授業の後半で、もう一章を終えます。	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	40 %	
日常点・その他	60 %	毎回時間の初めに行う小試験が各10点。それが6回で60点。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

映画、音楽、スポーツなど、ドイツに関係のあるもので、自分の興味のあるものを見つけてください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「CDエクスプレス ドイツ語」	小塩節 / 白水社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語特別講義 A

11149

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。ただし最後の回は予備日として、それまで受けていない回の小テストを受けることができる。この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級程度)学力を習得することを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンス、名詞、冠詞、形容詞、指示形容詞、所有形容詞、avoir, etre	
第2回	主語人称代名詞、疑問文の作り方、否定文の作り方、数詞、er動詞、finir, faire	
第3回	近接未来、近接過去、非人称表現、前置詞と冠詞の縮約、aller, venir	
第4回	疑問詞を使った疑問文の作り方、比較級、最上級	
第5回	部分冠詞、中性代名詞(en, y, le)、vouloir, mettre, prendre	
第6回	補語人称代名詞、代名動詞、connaître, pouvoir, savoir	
第7回	複合過去形	
第8回	予備日(受けていない回の小テストを受ける)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計を100点に換算して判定する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを用意する。以下のサイトに講義内容はアップしているので、欠席したらこちらからプリントアウトするなどして、自習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsumeii/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語特別講義 B

11166

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。ただし最後の回は予備日として、それまで受けていない回の小テストを受けることができる。この授業は前セメスターまでの単位未修得科目の補習として実施します。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級程度)学力を習得することを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンス、名詞、冠詞、形容詞、指示形容詞、所有形容詞、avoir, etre	
第2回	主語人称代名詞、疑問文の作り方、否定文の作り方、数詞、er動詞、finir, faire	
第3回	近接未来、近接過去、非人称表現、前置詞と冠詞の縮約、aller, venir	
第4回	疑問詞を使った疑問文の作り方、比較級、最上級	
第5回	部分冠詞、中性代名詞(en, y, le)、vouloir, mettre, prendre	
第6回	補語人称代名詞、代名動詞、connaitre, pouvoir, savoir	
第7回	複合過去形	
第8回	予備日(受けていない回の小テストを受ける)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計を100点に換算して判定する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを用意する。以下のサイトに講義内容はアップしているので、欠席したらこちらからプリントアウトするなどして、自習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsumeii/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

西ヨーロッパの言語 A

12120

担当者名 / Instructor 井上 幸孝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

平易なスペイン語を学習
 スペイン語圏の文化に関する講義

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語で簡単な表現ができること
 スペイン語とスペイン語圏の文化について基礎的知識を身に付けること

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	挨拶表現 / 授業の概要説明および導入講義	* 以下、左側がスペイン語の学習内容、右側が講義内容
第2回目	発音(1) / スペイン語の歴史	
第3回目	発音(2) / スペインの諸言語	
第4回目	名詞・形容詞 / ラテンアメリカのスペイン語と先住民諸語	
第5回目	人称代名詞 / スペインの歴史(1)	
第6回目	ser, estar, haber(hay)動詞(1) / スペインの歴史(2)	
第7回目	ser, estar, haber(hay)動詞(2) / ラテンアメリカの歴史(1)	
第8回目	疑問文・否定文 / ラテンアメリカの歴史(2)	
第9回目	規則変化動詞(-ar動詞) / スペインとラテンアメリカについての「1492年」	
第10回目	規則変化動詞(-er動詞、-ir動詞) / スペイン帝国の拡大とラテンアメリカ植民地支配	
第11回目	不規則動詞(1人称単数が不規則な動詞) / スペイン・ラテンアメリカと日本の関係史	
第12回目	語幹母音変化動詞(1) / スペインの現代文化	
第13回目	語幹母音変化動詞(2) / ラテンアメリカの現代文化(1)	
第14回目	不規則動詞(その他) / ラテンアメリカの現代文化(2)	
第15回目	最終講義試験	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

授業前半はスペイン語を学習し、授業後半は言語および文化に関する講義を行う。
 概ね上記の計画に沿って進めるが、進度やその他の状況によって多少前後することもある。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	最終講義試験は講義内容ではなく、スペイン語学習内容をもとに出題
日常点・その他	50 %	出席点と小レポート(語学ではなく講義内容に基づく)を併せて日常点とする

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

特定のテキストは使用せず、随時プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業内で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

西ヨーロッパの言語 B

12123

担当者名 / Instructor 鯖江 秀樹

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「ことば」、「もの」、「ひと」を通して、近現代イタリアの様々な側面を学ぶという授業です。
 前半は、基本的なイタリア語の発音・文法・語彙を学習し、最後に小テストを実施します。
 その後、絵画・建築・デザインなど、各分野の重要人物についての解説をまじえながら、スライドを用いて、代表的な作品を紹介し、二十世紀イタリアの文化や歴史の推移を学んでいきます。

到達目標 / Attainment Objectives

実用イタリア語検定4～5級程度の語学力を身につけ、イタリア近現代文化についての一般的知識を深めることが目標です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イタリア語文法と発音の基礎	
2	名詞と冠詞 動詞essere、avereの直説法現在	
3	指示形容詞 人称代名詞	
4	規則動詞の直説法現在	
5	直説法近過去(1)	
6	直説法近過去(2)	
7	関係代名詞	
8	これまでの復習と小テスト	
9	二十世紀のイタリア文化概説	
10	二十世紀のイタリア絵画(1)「未来派、形而上絵画」	
11	二十世紀のイタリア絵画(2)「アルテ・ポーヴェラ」	
12	二十世紀のイタリア建築(1)「合理主義建築」	
13	二十世紀のイタリア建築(2)「戦後の建築家たち」	
14	ミラノとインダストリアル・デザイン	
15	最終講義日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	50 %	後半の講義内容に関する論述テストを行う
日常点・その他	50 %	イタリア語小テストと出席状況

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教科書は使用しません。プリントや資料は適宜配布します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
開かれた作品	ウンベルト・エーコ / 青土社 / 4-7917-5964-8 / 2002年(新装版)
ジュゼッペ・テラーニ 時代を駆け抜けた建築	鶴沢隆 (監修) / INAX出版 / 4-87275-081-0 / 1998年
ファンタジア	ブルーノ・ムナーリ / みすず書房 / 4-622-07209-2 / 2006年

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

東アジアの言語 A

12134

担当者名 / Instructor 鈴木 常勝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されている。中国語学習体験のない学生をも対象として、中国語、アジア文化の理解を目指す。中国語の基礎的知識の把握にわえ、初歩レベルの中国語会話練習をとりいれ、中国語に対する理解を求める。また教材・映像を活用しながらのアジア文化との接触を通して、受講生のアジア理解を深めるものとする。日中間の歴史認識の違いについても、比較検討する。

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1~7回 中国語の声調(アクセント)と巻き舌音の特徴を身に着けるために、小学生用の朗読文、歌謡曲、数字、地名を用いて練習する。	
8	8~14回 「日中戦争とメディア」「日中両国の歴史認識のズレ」をテーマに、日中戦争下の中国抗日映画と日本国策紙芝居を資料として取り上げ、論議する。中国人留学生とも話し合う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	中間と期末の2回のレポート提出を必要とする。
日常点・その他	50 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストは初回に指示する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
メディアとしての紙芝居	鈴木常勝 / 久山社 / 4-906563-98-8 /
大路一朝鮮人の上海電影皇帝	鈴木常勝 / 新泉社 / 4-7877-9406-x /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

東アジアの言語 B

12148

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others